

# 地方史情報

118  
2014年3月

憑霊信仰の歴史と民俗

酒向 伸行

小松和彦氏のいう「憑霊」の概念は、同氏『憑霊信仰論』の「はしがき」において、憑霊信仰とは「神霊がなにかに、つまり、人や事物に乗り移るという宗教的概念についての総称」としていることから、あくまでも憑入に重点が置かれていることは明らかである。このように小松氏の関心はもっぱら憑入にあるようであるが、本書では憑入と憑着という二つの視点が存在することに重点を置くことによって、わが国に深く根付いている憑霊信仰の新たな側面を明らかにしていきたい。

本書では、憑霊信仰の歴史的な変容過程を、奈良時代から現行民俗の世界までを視野にいれながら明らかにする。その際には、憑霊現象の主体となる「疫神」「もののけ」「鬼」「天狗」「狐霊」などの霊的存在の分析と、これらの霊的存在と直接的に関わった「験者」に代表される仏徒、あるいは陰陽師・巫女などの霊的職能者の分析を合わせて行なう。

わが国の憑霊信仰研究において、大きな位置を占めているのは、病気とその癒しという課題である。そこで本書では、憑霊と治病儀法の変容というテーマを中心に据えた。

何をもって病とみなすかは、文化によって大きく異なっている。したがって、病に対する対処法も、また文化によってさまざまに異なっている。それは西洋医学と東洋医学とを比較してみても、明らかであろう。両者は病因（病気の原因）や病気発生のメカニズム、それに対する治療方法といった治療体系も、まったく異なっている。（中略）

わが国では古代より、病因が不明な病気や疫病などの流行病の発生に際して、このような病は悪しき霊的存在の憑着によってもたらされた、と人々は認識してきた。そして、その治病のためにさまざまな呪的儀法がとり行なわれた。このような儀法は当然、霊的職能者が中心となってとり行なった。本書ではこのような、人間に、病や時には死をもたらすと信じられた霊的存在の活動と、それに対抗した霊的職能者の動きとを分析することから、わが国の憑霊信仰の特性をさぐっていく。

（酒向伸行『憑霊信仰の歴史と民俗』2013.12、小社刊）

# 地方史研究雑誌目次速報 飯澤文夫 編

\*本誌に掲載した雑誌に関するお問い合わせは、発行元に直接お願いします。

## 北海道・東北

- ◆文化情報 北海道文化財保護協会  
〒060-0002札幌市中央区北二条西7丁目  
かでの2・7ビル9階 TEL011-231-4111  
www10.ocn.ne.jp/~bunkazai/  
◇338 2013.7 B4 4p  
みちのくの世界遺産に思う  
一司馬遼太郎さんと私 野村 崇  
平成25年度通常総会 役員29人を  
選任  
指定文化財について 国指定重要  
文化財へ答申/道有形文化財に  
指定  
総会を終えて 舟山 廣治  
世界文化遺産への登録をめざして  
(15)ー共通ロゴマークの決定  
名寄市が全国に誇る「キマロキ」、  
保存会の活動紹介 金田 卓治  
平成25年度北海道文化財保護協会  
事業一覧  
根室での古地図展を見学してー東  
西の古地図に見る日本・北海道  
・千島 高木崇世芝  
読者の声  
小樽文化財めぐりに参加して W・H  
豊浦町公民館公開講座「小幌海  
岸探索会」について 福田 茂夫  
「文化財保護活動支援講演会&  
交流の夕べ」のご案内  
新刊紹介『樺太庁博物館の歴史』  
舟山廣治編著

- ◆北方民族博物館だより  
北海道立北方民族博物館  
〒093-0042網走市潮見309-1 TEL0152-45-  
3888 1991年創刊 hoppohm.org  
◇89 2013.6 A4 4p  
表紙 H5.10 アツシ製手首あて  
(テクンベ) 1993年 高さ10cm  
北海道アイヌ 北海道二風谷  
藤谷るみ子製作  
ロビー展 北海道の古地図展ー伊  
能大図と蝦夷地古地図の変遷 渡部 裕  
講座 北海道古地図展・展示解説  
講座 講師：打田元輝氏 渡部 裕  
講座 北海道の古地図にみるアイ  
ヌ語地名 講師：伊藤せいち氏 渡部 裕  
講座 北海道の古地図とその歴史  
講師：高木崇世芝氏 中田 篤  
第28回特別展 極北の島グリーン  
ランド 氷海のハンター、エス  
キモー  
◆岩手県南史談会研究紀要  
〒021-0023岩手県一関市銅谷町2-3  
高橋龍夫方 1953年創刊  
◇42 2013.7 B5 88p 1500円  
刊行に当たって 遠藤 輝夫  
新春講演会 延喜式内記志和神社  
の成立と変遷ー歴史的考察 小野寺 啓  
研究発表  
中尊寺面について 千葉 武志  
馬匹彫塑家 伊藤國男の生涯と  
作品 高橋 龍夫

- 近代平泉に生きた人々  
ー平泉人物列伝 阿部 和夫  
紙上発表  
高橋東阜の書道について 菅原 宏通  
高山彦九郎『北方日記』現代  
語訳の試みー東山郷の部分の  
み(1) 岩淵 国雄  
「赤川津・安部氏」の出自を尋  
ねて(5)「赤生津・安部氏」  
の歴史における「安部小次郎  
重綱」の位置づけに関する検  
討 安部徹良/安部皓三  
/安部公良/森静子  
萩荘における田村宗顕公の御功  
績 千葉 武志  
情報・資料紹介 遠藤 輝夫  
会報 高橋 龍夫

- ◆いわて文化財 岩手県文化財愛護協会  
〒020-0102盛岡市上田字松屋敷34  
岩手県立博物館内 TEL019-661-9688  
1970年創刊  
◇255 2013.6 A4 8p  
民俗芸能を支える道具  
踊り手の探り物「扇=おうぎ」  
絆を紡ぐ民俗芸能 竹内 重徳  
平成の釈迦如来 菅野 澄円  
復興加速年の文化財行政 佐々木一成  
平泉の文化遺産の課題 相原 康二  
復興事業関係の発掘調査 中村 英俊  
「平泉」地名の由来 伊藤 博幸  
続平泉志(19)  
観自在王院/無量光院 及川 和哉  
努力目標の「予算案」愛護協会  
新年度総会で承認/郷土史学習  
会が開講

- ◆道鏡を守る会通信 道鏡禅師を知ろう  
〒989-6156宮城県大崎市古川西館3-4-35  
本田義幾方 TEL0229-22-7364 年3000円  
◇臨時号 2013.6 B5 6p  
空梅雨のなか緑豊かな栃木西部を  
探訪旅行/7月13日(土)午前役  
員会&午後小勉強会  
栃木・大平方面探訪旅行報告 (本田)  
付録「英親王を祀る神ノ倉大権現  
と神ノ倉と云う知名の由来」  
役員会協議事項/道鏡を守る会  
小勉強会のご案内/10月勉強会  
ご案内  
◇別冊 iv 2013.4 A4 4p  
《3・11ココしん・さい(生)》  
大川小の子どもたちへー書き人知  
らず/鮎川~金華山/3.11の金  
華山/大川小の悲劇ー素人分か  
り的に/備忘録 宮城県名取市  
関上 本田 義幾  
◇別冊 vi 2013.6 A4 6p  
《3・11ココしん・さい(生)》  
「横死」表記他にもありました/  
ボランティア/相川に私的に思  
いを馳せながら/地名志津川に  
関しながら/備忘録/石巻市・  
雄勝一帯を訪ねる/大浜の石神  
社で(雄勝つづき)  
◇別冊 vii 2013.7 A4 2p  
《3・11ココしん・さい(生)》  
岩井崎(気仙沼市南部 5月下旬)訪  
ねる/震災から丸2年経って会  
った友人と/備忘録  
◆秋田歴研協会誌  
秋田県歴史研究者・研究団体協議会  
〒010-0951秋田市山王7-5-10 秋田文化出  
版内 TEL018-864-3322 1996年創刊

akita-nct.ac.jp/~wakino/rekiken.html  
 ◇51・52 2013.6 B5 36p  
 特集1 秋の歴史フォーラム  
 災害と歴史資料の保存  
 秋田県における歴史資料の保存  
 一秋田県立博物館の場合 新堀 道生  
 東日本大震災と歴史資料—岩手  
 県陸前高田市の事例を中心と  
 して 茶谷 十六  
 フォーラムを終えて  
 一急がれる災害対策 佐々木久吾  
 特集2 第19回大会公開講座  
 藩政後期の文化・秋田蘭画 山本 丈志  
 用語解説  
 指紙(差紙)・指紙開・高結び 半田 和彦  
 歴史情報  
 浦城主三浦氏について 塩谷 順耳  
 自著紹介『秋田市新屋郷土史』大島 正美  
 新刊紹介 斎藤廣志著『あきた  
 地名要覧』 秋田文化出版編集部  
 文献情報／催しもの情報／事務局  
 だより  
 ◆北方風土 北方風土社  
 〒019-1541秋田県仙北郡美郷町土崎字上野  
 乙1-254 森本彌吉 TEL0187-85-4027  
 1980年創刊  
 ◇66 2013.6 A5 183p 2000円  
 佐藤信淵(下) 稲 雄次  
 鳥追い歌の発生と伝播 本城屋 勝  
 秋田営と元慶の乱 神宮 滋  
 大曲・田口謙蔵氏宛の書簡から(2)  
 多田等親氏からのたより 高倉 光一  
 明治 秋田の薬事情  
 一秋田県南の史料から 原 千秋  
 鹿と猿 佐藤 松雄  
 炬燵の中の古代妄想  
 一地名検索のしめすもの 池田 隆信

百家風発  
 小著『鳥海山縁起の世界』に対  
 する批判と評価—鈴木正崇教  
 授の教導に学ぶ 神宮 滋  
 太古・古代・中世・近世の陸奥  
 と出羽の歴史を掘る 西和  
 賀、和賀、黒沢尻、北上、稗  
 貫、宮守、協和 高橋 暁樹  
 史料編  
 進藤貞吉著『道中記』(解説・翻  
 刻・注記・編集) 相馬 登  
 『逸女歌集 行路梅』現代語訳・  
 解説 高橋傳一郎

◆庄内民俗 庄内民俗学会  
 〒997-0036山形県鶴岡市家中新町10-18 致  
 道博物館内 TEL0235-22-1199 1951年創刊  
 ◇36 2013.6 A5 76p  
 『五十嵐文蔵先生を偲ぶ』  
 はじめに 犬塚 幹士  
 ありし日の五十嵐文蔵先生  
 五十嵐文蔵先生の略歴・著作目録  
 五十嵐文蔵先生を偲ぶ 佐久間 昇  
 五十嵐文蔵先生との思い出 後藤 義治  
 五十嵐文蔵先生の人と学問 岩鼻 通明  
 荘内衆の人智のすばらしさの源 塩野 俊恭  
 五十嵐文蔵先生の思い出 本間 豊  
 庄内の草木塔を訪ねて 梅木 壽雄  
 道饗祭について 後藤 義治  
 湯殿山にあった装束場 渡辺 幸任  
 松例祭(冬峰)に見る死生観と迎春  
 呪術 渡部 幸  
 図書紹介 岡田照子著『瀬川清子  
 女性民俗学者の軌跡』、『大泉叢  
 誌 序総目録・巻十・巻十二・  
 巻十八・巻十九・巻二十一・巻  
 二十二・巻百三十八』、渡辺幸  
 任著『出羽三山信仰と月山筭』

会のあゆみ 平成22～24年



\*平成23年11月に95歳で亡くなった、庄内民俗学会創立以来の会員で、幹事として会員の指導に当たってきた五十嵐文蔵氏を追悼する。

同氏は大正6年に鶴岡市に生まれ、山形師範学校を卒業後、地元の尋常小学校、国民学校、高校で教壇に立ち、県立鶴岡家政高校の校長などを務めた。この間、朝日村史の編さんや、山形県民俗芸能の緊急調査に加わった。「庄内民俗」創刊号(昭和26)に発表した「子供の遊び」を始め、地域の伝承や生業、衣服、食生活、婚姻、産育、祭り、芸能などを調査し、多くの論考、著書を残した。中でも、2002年に小学館スクウェアから刊行された『庚申信仰の伝播と縁起』は、300ページを超える大冊で、庄内地方の事例をことごとく調べ上げ、さらに全国の庚申縁起を類型化した貴重な記録であると、特集号執筆の多くが記している。

いってご冥福をお祈りする次第である。

◆聴雪 新庄古文書の会  
 〒996-0084山形県新庄市大手町2-65  
 大場英一方 TEL0233-29-2786 1997年創刊  
 ◇17 2013.6 B5 117p  
 巻頭言 熱中時代 新國 吉朗

特別寄稿 私の古文書漫歩(3)  
 「鳩サブルー」 大友 義助  
 入門講座の学習  
 戸沢家文書「御家老勤方牒」(柴  
 崎ユキ・阿部一・小河原ヒデ  
 子・小関清純・杉原實・高橋久  
 子・梁瀬平吉・梁瀬龍夫・成  
 沢清久・神崎清次・大友寿美  
 代・箱山伶・佐藤周一・沼沢  
 美恵子・伊豆倉公子・伊藤勉)  
 解説 伊藤 勉  
 荒川家文書「家作諸掛書留帳」  
 (荒川輝夫・佐藤寿也・早坂誠)  
 解説 大友 義助  
 中級講座の学習  
 古瀬本「古老覚書 壺」(3)(高  
 橋秀弥・大場英一・矢口實・  
 大山昭徳)  
 古瀬本「古老覚書 二」(1)(矢  
 口三直・沓沢正昭・武田清夫)  
 解説「古老覚書 壺」(3)・「古  
 老覚書 二」(1) 大友 義助  
 自由研究・史料紹介  
 地所譲渡證券(角沢村) 大場 英一  
 余語家文書「軍事記」 武田 清夫  
 随想  
 新潟の古城・村上城探訪の記 土屋 道郎  
 いにしへの国府の地を訪ねる 佐藤 周一  
 売りに出された古文書 新國 吉朗  
 紙魚の日向ぼっこ 早坂 誠  
 一粒一滴  
 言葉の謂れ「移徒」 大友 義助  
 言葉の謂れ「根舟・椛」 大友 義助  
 新庄の地名「宮内」 大友 義助  
 新庄古文書の会「会務報告」

◆東北学  
 東北芸術工科大学東北文化研究センター

(発売：はる書房) 〒990-9530山形市上桜  
田3-4-5 TEL023-627-2168 年10000円  
2013年創刊 gs.tuad.ac.jp/tobunken/  
◇2 2013.7 A5 357p 1905円  
旅スケッチ(2) ラオス：歴史を  
超える笑顔の中で 田口 洋美  
巻頭鼎談 「映像」が持つ可能性  
について一現実とどう向き合っ  
ていくか  
鎌仲ひとみ／根岸吉太郎／田口洋美  
《特集 日常を撮る！  
山形国際ドキュメンタリー映画祭》  
特集鼎談 山形国際ドキュメンタ  
リー映画祭が生んだもの  
原村政樹／渡辺智史／田口洋美  
映画祭は生きものである  
〈映画祭関連エッセイ〉  
若者たちが村にやってきたー小  
川紳介とドキュメンタリー映  
画祭 木村 迪夫  
山形国際ドキュメンタリー映画  
祭の歩み 矢野 和之  
世界から見たヤマガタートーマ  
さんとワンさんの仮想談話 藤岡 朝子  
人と人が繋がる映画祭 日下部克喜  
国際映画祭の映写現場から思う  
こと…… 石井 義人  
まなざしと超えのユートピアー  
山形ドキュメンタリーフィル  
ムライブラリー 阿部 宏慈  
映像文化創造都市ってあり？ 高橋 卓也  
「3・11」後、映像作家にできる  
こと 岡崎 孝  
山形国際ドキュメンタリー映画  
祭とミラノ「DOCUCITY」加藤 到  
映画祭2013開催&プログラム情報  
／資料1 これまでの受賞作品・  
監督リスト／資料2 貸出可能な

ライブラリー・コレクション  
ドキュメンタリーをつくるという  
こと  
「撮ることからはじまる」ドク  
ュメンタリー 小泉 修吉  
いしゃ先生は、神さまだっけー  
女医・志田周子の映画化をめ  
ぐって あべ 美佳  
この国の無関心に向けてー原発  
避難所の撮影から見える幾多  
もの反省点 船橋 淳  
阿武隈梁山泊外伝(2) たくきよしみつ  
八甲田山における山岳ガイドの変  
遷(2) 羽根田 治  
ホンのひとつこと  
ー世界征服とリアリティ  
東文大研究所ー日本の映画祭  
フィールドノート(1)ー沖縄西表  
島 森に刻まれたイノシシ猟の  
記憶 蛭原 一平  
アートフルワンダーランド(2)ー  
壁のアーティスト、「確かなモ  
ノ」を残す左官の仕事 謝 黎  
三陸海岸、今ー釜石市から久慈市  
にかけて 2013年5月 蛭原 一平  
復興ダイアリー(2)ー新聞紙面に  
みる復興(2012.9.11～2013.3.11)  
◆南陽の歴史 南陽の歴史を知る会会報  
〒999-2232山形県南陽市三間通361-8  
須崎寛二方 TEL0238-43-5299  
◇195 2013.6 B5 12p  
北条郷 江戸時代の歌人たち  
ー北条郷の狂歌師たち・補遺 須崎 寛二  
『南陽市史 下巻』を読む  
ー第217回学習会に参加して 高貫 隆一  
松一本の盗み伐りに三千本植え立  
ての償いー米澤藩の山林政策 須崎 寛二

◆村山民俗 村山民俗学会  
〒990-0821山形市北町3-3-45  
市村幸夫方 TEL023-684-5708  
年3000円 1988年創刊  
www.chance.gaiax.com/home/imichiaki  
◇27 2013.6 B5 100p  
明海上人と中山町達磨寺地区の念  
仏講 横尾 尚壽  
大光院の千体地藏尊一奉納者と製  
作者を考える 野口 一雄  
「谷地どんがまつり」の複合性 村田 弘  
葉山信仰の諸相(6)  
ー岩手県内のハヤマ信仰 鈴木 聖雄  
専称寺・二王堂小路・裁判所その  
関係の謎 安孫子博幸  
長井の町場形成の歩み  
ー舟場の役割と商活動から 菊地 和博  
姫鱈のふ化と放流の記録 會田 庄一  
右京橋と白岩農機一揆 伊藤 登啓  
被災地をめぐる現代民俗ー映画館  
の顧客アンケートを通じた試論  
岩鼻 通明  
恥川と阿津賀志山ー平清水と平泉  
清野 春樹  
石造の善光寺式阿弥陀三尊仏  
ー村山・置賜の事例から 加藤 和徳  
「平塩石切山」について 建部 真也  
文政七甲申秋八月十五日洪水之事  
市村 幸夫  
宝沢の炭焼きを語る 事務局  
会の歩み(2012年)

◆福島県史料情報 福島県文化振興事業団  
〒960-8116福島市春日町5-54  
TEL024-534-9193 2002年創刊  
www.history-archives.fks.ed.jp  
◇36 2013.6 A4 4p  
県庁文書に残る岳温泉の原風景

陸奥嶽山畧図、部分(『村界事件  
その他』、明治・大正期の福島県  
庁文書2207号) 小野孝太郎  
キリスト教禁教制度と『切支丹類  
族存命帳』 小野孝太郎  
「福島舊城内立木明細調」に見る  
福島城の遺構 本間 宏  
『佳人之奇遇』と山本八重 渡邊 智裕  
『師範学校中学校建築目論見帳』  
について 渡邊 智裕  
『物産景況書』にみる塩づくり 佐々木慎一  
平成25年度行事予定(平成25年8月  
～平成26年2月)

関 東

◆茨城史林  
茨城地方史研究会(発売：筑波書林)  
〒310-0844茨城県水戸市住吉町133-14  
年3000円 1972年創刊  
◇37 2013.6 A5 166p 1048円  
天狗騒動150年について 佐久間好雄  
古代常陸国筑波郡筑波郷について  
久信田喜一  
東国における近世前期の村落と村  
請制ー新治郡太田村を中心とし  
て 栗原 亮  
加担した者たちから見た結城戦争  
ー彰義隊士と会津藩士 あさくらゆう  
新四国相馬霊場八十八カ所の成立  
と変遷 近江 礼子  
研究ノート  
個人日記に見る明治・大正・昭  
和の出来事 栃木 敏男  
佐竹乙寿丸と山尾小野崎氏  
ー入嗣の経緯を中心に 笹岡 明  
史料紹介 『安政江戸大地震記録』  
をよむ 金周古文書好楽会  
新刊紹介

大藤修著『日本人の姓・苗字・名前一人名に刻まれた歴史―』 永井 博  
 栗原亮著『忠臣蔵の真実』 永井 博  
 永井博編著『参勤交代と大名行列』 久信田喜一  
 史料調査報告 北茨城市・常陸太田市・水戸市・行方市・鉢田市の調査 久信田喜一  
 活動概況報告

◆下妻の文化 下妻市文化団体連絡協議会  
 〒304-0067茨城県下妻市下妻乙349  
 TEL0296-43-3418 1976年創刊  
 ◇38 2013.5 A5 175p  
 序 ごあいさつ 稲葉 本治  
 特別寄稿  
 運を育む 石川 弘  
 東部中学校今昔 廣瀬 成男  
 まちづくりと図書館 坂井 寿夫  
 人づくりは古里づくり―公民館の活性化で幸福度アップ 岡田 正美  
 若冲の二・三の作品と中国年画の関係について 田所 政江  
 角館祭りのやま行事紀行 大塚 武彦  
 2012年11月  
 インド初めての取材旅行 羽子田長門  
 随想編  
 去年今年 上野 智憲  
 明々館の思い出(とばのえ余話) 角田 惟也  
 卒寿を迎える恩師と交わす一杯の酒 外山 崇行  
 私の野球審判―魅せられて40年 中島 武男  
 狐・二題 島田 武男  
 ふる里を思う年賀状 近藤 久雄  
 母校の歴史を訪ねて(5)―古写

真にみえる母校の面影 中島 成行  
 みちのくひとり列車旅 中山 昇  
 ふるさとの雪 高橋 宣行  
 我が家の危機管理は！ 千勝 弘巳  
 唱歌「故郷の空」―そのルーツ、広がり、思い出 國府田 晋  
 少林寺拳法の勧め 菊池 正行  
 茨城県下妻市高道祖神社の道祖神祭について 佐久間秀樹  
 下妻歴史散歩 中尾 仁  
 腹くち― 鈴木 賢一  
 研修記 福島の浜通り地域 小林 祐  
 受けた親切 神郡 あさ  
 菊 酒 市村 清  
 遠い雪の日の思い出 栗原 キヨ  
 報告  
 活動のあと(平成24年度) 各 団 体  
 研修視察記「白水阿弥陀堂・他」 横瀬 靖彦  
 一年のあしあと 寺田 陽子

◆常総の歴史 崙書房出版茨城営業所  
 〒315-0014茨城県石岡市国府4-6-5  
 TEL0299-24-0595 1987年創刊  
 ◇46 2013.6 A5 111p 1048円  
 『和名抄』みえる常陸国筑波郡の郷について(2)―佐野・清水両郷を中心に 久信田喜一  
 東国仏教を開いた「徳一菩薩」の足跡を探る―最澄・空海と並ぶ名僧の歩み 西谷 隆義  
 天正末期における佐竹支族大山氏と白川結城氏の交渉について 安達 和人  
 大山寺山門の板蕨股の家紋について 小野寺 靖  
 水戸様と殿中儀礼 河野 弘  
 新選組芹澤鴨の出征について 箱根紀千也  
 義公を敬愛したクリスチャン

不屈の政治家根本正 仲田 昭一  
 郷土の本／受贈図書を紹介コーナ  
 ー

◆水戸史学 水戸史学会  
 〒310-0852茨城県水戸市笠原町979-42  
 但野正広方 TEL029-243-6910 1974年創刊  
 ◇78 2013.6 A5 96p  
 香川敬三と茨城(上) 上野 秀治  
 「藤田神童」の誕生 梶山 孝夫  
 『大日本史』斉明天皇本紀の基礎的研究 堀井 純二  
 藤田東湖と瓢兮歌 仲田 昭一  
 水戸学者清水正健の遠遊 渡邊 拓也  
 義公の足跡を訪ねて(25) 住谷 光一  
 新刊紹介 梶山孝夫著『大日本史の史眼―その構造と叙述―』 関 修一

◆史談 安蘇史談会  
 〒327-0004栃木県佐野市赤坂町229  
 大高八三郎方 TEL0283-24-3232  
 年2000円 1985年創刊  
 ◇29 2013.6 A4 264p  
 表紙解説 梁田戦蹟図、会津藩士柳田勝太郎墓碑等  
 口絵写真＝説明 国認定重要美術品「一瓶塚稲荷神社銅製鳥居附文書二通」 (海老原)  
 巻頭言 唐沢山城跡国指定史跡化実現に寄せて 京谷 博次  
 史料「青山儀兵衛旅日記」紹介 青山 守  
 足尾鉍毒事件と四人の文壇人 黒田 哲哉  
 史料紹介  
 田中正造記念協会の由来 山口 徹  
 「小中農教倶楽部」百年の歩み 矢島 俊雄  
 佐野市域における丸山瓦全の活動について 竹澤 謙  
 千代ヶ岡の幻影

一鯨嶋大将と赤見村の人々 川田 春樹  
 唐沢山神社を創った男―佐野常民の没後110年に寄せて 大高八三郎  
 我が家の今昔 山田 和夫  
 小林眞齋先生のこと(続)  
 一眞齋塾の教科書について 廣木 雅子  
 梁田戦争と旧幕府歩兵部隊配送の道 海老原脩治  
 幕末維新期の里修験と神職―下野国安蘇郡閑馬村の事例から 山中 清次  
 三人の六十六部―永代接待船の自観・妙心&廻国行者道観法師 京谷 博次  
 春昌寺開山怪叟良慶和尚について  
 一春昌寺文書を中心に 福地 茂穂  
 古河公方・足利高基の書簡について 関根 徳男  
 史料紹介 高瀬文書所収二通の古河公方足利成氏文書について 嶋志田智啓  
 民謡「敦盛さん」に思いを寄せて 篠崎 澄子  
 藤原秀郷公ゆかりの神社 大森千哥子  
 日本で唯一の『三蔵法師靈仙』とは 永島 正夫  
 下野国南部の東山道を推定する 清水 喜三  
 漢字の歴史 古代甲骨文字から楷書の完成まで 大芦 義男  
 寺野東遺跡の保存について(2) 海老原脩治  
 “初の”初詣見学会に参加して 松中 清子  
 平成24年度「安蘇史談会日誌」

◆群馬地名だより 群馬地名研究会  
 〒371-0835群馬県前橋市前箱田町29-8  
 小池照一方 TEL027-251-7660 1989年創刊  
 ◇83 2013.7 B5 8p  
 日光例幣使道の設定と13宿場の機能について 茂木 晃

- ◆**群馬文化** 群馬県地域文化研究協議会  
〒376-0011桐生市相生町2-995-2  
宮崎俊弥方 年4000円 1957年創刊  
gunmabunka/web.fc2.com
- ◇**315** 2013.7 A5 80p  
《特集 地域史研究の最前線 PartⅢ  
―群馬の近世史》  
趣旨説明  
「群馬の近世史」を開催して 藤井 茂樹  
記念講演  
群馬県史の編纂と近世史研究 落合 延孝  
研究発表  
幕末維新期における上州の飛脚  
問屋―蒸気船、会社、郵便 巻島 隆  
近世庶民教育と筆子塚―高崎五  
万石騒動の文化的背景 和田 健一  
伊勢殿について―群馬県内にみ  
える伊勢御師の活動拠点 久保 康顕  
研究大会報告 平成24年度群馬  
県地域文化研究協議会研究大  
会に参加して 竹内勲/秋山寛行  
総会・地域研究会報告 平成25年  
度群馬県地域文化研究協議会総  
会並びに第29回地域研究会(於・  
館林市文化会館)の開催  
藤井茂樹/関口荘右  
新刊紹介  
熊倉浩靖編著『群馬県謎解き散  
歩』 宮崎 信雄  
榛名町誌編さん委員会編『榛名  
町誌』民俗編 横田 雅博  
口絵 上野国印(復元品)―群馬県  
立歴史博物館蔵品資料(116) 小池 浩平
- ◆**群馬歴史散歩** 群馬歴史散歩の会  
〒379-2154群馬県前橋市天川大島町317-1  
TEL027-223-2785 年4500円 1973年創刊  
www16.plala.or.jp/kuzira226/

- ◇**230** 2013.7 A5 56p  
《特集 遺跡と石》  
特集「遺跡と石」について 飯森 康広  
河川資源としての石材 岩崎 泰一  
縄文時代の配石遺構―列石遺構に  
見る階層的な祭祀構造 石坂 茂  
群馬県の中期古墳と石棺 長谷川博幸  
砥石 大西 雅広  
公益財団法人群馬県埋蔵文化財調  
査事業団からのお知らせ 発掘  
情報館にいらっしゃいませんか  
井伊氏と龍譚寺 大塚 實  
高山彦九郎日記による歴史散歩  
(37)『江戸日記』(3) 正田 喜久  
れきさんサロン れきさん三題  
「ケイホツ」と呼ぶ田の話、「午  
王頭川」の名の由来、「ヘダマ」  
の話 永田 勝治  
郷土カルタは普及・活用にこそ意  
味がある 加藤 鶴男  
箕輪城の歌と長野業政・業盛 西原 巖  
片品の生んだ偉大な書家「荻原賢  
和」の碑を訪ね歩く(3) 高山 正  
事務局日より

- ◆**武尊通信** 群馬歴史民俗研究会  
〒372-0031群馬県伊勢崎市今泉町1-1046-4  
板橋春夫方 1979年創刊
- ◇**134** 2013.6 B5 4p  
中世前期の上野目代 久保田順一  
なぜ死者の胸元に刃物を置くのか  
板橋 春夫  
第97回例会記事

- ◆**埼玉史談** 埼玉県郷土文化会  
〒350-0231坂戸市泉町12-5 大圖口承方  
TEL049-281-4983 年4000円 1929年創刊
- ◇**314** (60-2) 2013.7 A5 46p

- 深谷市黒田古墳群採集の埴輪 富田 靖雄  
キューボラが消えた―産業構造変  
化と川口の戦後史 大熊 晋一  
平柳社幽峰遺文からの「月並句合」  
考(3)―三「幽峯」と「平柳社  
幽峰」の句 岡田 博  
嵐山町宝楽寺の算額について 高柳 茂  
井上三河守は鉢形北条の家老か  
(3)―『分限帳』の編まれた謎を  
追って 栗原 一夫  
川越城富士見櫓考 佐藤 繁  
資料紹介  
旧上中条村(熊谷市)の古文書 奥田 豊  
表紙写真解説 年不詳結衆板碑断  
片 坂戸市赤尾  
口絵写真解説  
滝不動尊 坂戸市四日市場  
催事案内 博物館・資料館めぐり  
栗橋関所番士屋敷跡の発掘ニュー  
ス  
例会報告 第641回研究発表会/  
第642回 志木市見学/第643回  
加須市見学
- ◆**日本の石仏**  
日本石仏協会(発売:青娥書房)  
〒357-0067埼玉県飯能市小瀬戸29  
TEL042-971-6512 年8000円 1977年創刊  
www.3.ocn.ne.jp/~bosatu/sekibutu/sekibutu1.html
- ◇**146** 2013.6 A5 80p 2100円  
表紙写真 千国街道前山百体観音 西澤 寛晃  
口絵 誌上写真展  
'13日本石仏協会写真展より  
巻頭随想 野の仏と向きあうとき  
―自戒をこめて 坂口 和子  
《特集 石仏探訪X I》  
越前の田の神 殿南 直也

- 北陸地方の八大龍王 滝本やすし  
三日月に乗った女神の像 中野 高通  
ぶらり石仏紀行 たなかよしゆき  
「幸せの国」ブータンの旅から 小島 隆司  
中部山地に点在する一石三十三観  
音塔探訪 井戸 寛  
国東半島の石造仁王像に魅せられ  
て 高野 幸司  
大勝金剛面門快笑す 岡村 庄造  
供華の種類とその変遷 嘉津山 清  
誌上講座  
石仏入門(2) 阿弥陀如来 門間 勇  
名号塔の知識(14)  
越谷市近辺の名号塔 岡村 庄造  
「石」を知る(36) 小松 光衛  
石仏写真と私(36) 庚申塔の魅  
力は深く限りなく 多田治昭  
さん 杉本 康希  
あ・ら・か・る・とー私の石仏案内  
変わった灯籠型庚申塔  
千葉県船橋市西船5丁目 町田 茂  
尊勝曼荼羅の石仏  
茨城県常総市中妻町2467-3 中上 敬一  
会員の広場  
日の出・花見地藏の訂正 石川 博司  
珍しい刻像の歳神 中森 勝之  
珍しい形の「ウハッキュウ」塔 門間 勇  
この梵字塔は何ですか? 新井るり子  
新潟県立歴史博物館秋季企画展  
「石仏の力」展案内  
第97回石仏見学会報告  
江戸川沿いに柴又帝釈天へ 吉田 信吉  
一泊石仏見学会報告 群馬県みな  
かみ町の石仏めぐり 前川 勲  
石仏交流  
はがき通信 川口春代/遠藤康子

◆野外調査研究所報告

〒363-0025埼玉県桶川市下日出谷925-155  
TEL048-786-0225 yagaiken.or.jp  
◇19・20 2013.6 A4 138p 1200円  
巻頭言―野外研が目指したの 吉川 國男  
身近な自然の記録：浦和における  
気温・水温の記録について 堀口 萬吉  
埼玉県の液化化履歴―史料からみ  
た近世以降の概観 海野 芳聖  
武蔵野台地の里川・柳瀬川の魚類  
稲村 彰郎  
人造硝石製法史に関する調査報告  
―メコン川流域の事例から 加藤 朗  
加藤朗氏の調査報告に接して 小池 昭一  
無農薬・有機栽培と家庭菜園  
―付、コナギ小考 坂井 利明  
「北辺の棚田」調査概報  
―付、調査票(様式) 五味康/吉川國男  
『忍藩秩父領割役御公用日記』に  
見える芦ヶ久保の獅子舞につい  
て 宮前 功  
『万葉集』『葦付』歌についての野  
外からの一見 藤田富士夫  
「葦付」のカワモズク説について 経沢 信弘  
三陸・山田湾周辺の自然と先史文  
化 鈴木 正博  
行事を囃す音楽の調査研究 小野寺節子  
タイ国・エメラルド寺院のラーマ  
キエン壁画 佐藤 行信  
サクラソウ(Primula sieboldii E Mor  
ren)に学ぶ―保護に携わって30  
年 青木 義脩  
近代・東京都下における公教育の  
発達普及状況について―『教育  
資料集』の作成を通して 片山 務  
秩父地方史研究  
―亀倉貞雄先生の研究の軌跡 吉川 照章

◆我孫子市史研究センター会報

〒270-1132千葉県我孫子市湖北台5-15-17  
岡本方 TEL04-7149-6404  
www.geocities.jp/abikosisiken/  
◇137 2013.7 A4 8p  
安永4年版の光音著『(新四国相馬)  
霊場石土写記 全』 近江 礼子  
『新四国相馬霊場八十八ヶ所を訪  
ねる』余話(6) わたしと新四  
国相馬霊場めぐり 江澤由紀子  
『新四国相馬霊場八十八ヶ所を訪  
ねる』余話(7) 中川 健治  
お手紙拝見2通 朋有り遠方より来  
る I 沖縄県名護市の中村誠  
司氏より戴いたお手紙です/II  
探訪部会で古河市探訪のときお  
世話になった刊行ボランティア  
ガイドの矢口節子氏よりいただ  
きました  
歴史探訪部会・座学 「ユーラシア  
の中の日本」を受講して 荒井 茂男  
歴史部会6月の活動と7月・9月の予  
定 白神 正光  
各部会 8月の活動予定  
合同部会 7月の活動と今後の予定  
事務局便り 中澤 雅夫

◆佐倉の地名 佐倉地名研究会会報

〒285-0864千葉県佐倉市稲荷台1-3-6  
野村忠男方 TEL043-487-1033  
年2000円 2012年創刊  
◇4 2013.7 A4 12p  
地名に学ぶ(3)  
城に深く関わる小字名 野村 忠男  
佐倉地名研究会  
平成25年度総会開催される  
(総力取材! 懇談会 佐倉の古い地名を語る)

司会・山部 紘

海隣寺と千葉家の人々 野村 忠男  
佐倉市の尾余(びよ)地名について  
滝口 昭二  
意味不明の地名を読み解く 松平喜美代  
ディスカッション 司会・山部 紘  
地名を訪ねるレポート  
福老の里・野田を訪ねる  
平成25年4月26日 古山 哲子  
広がり繋がる知識との出会いが楽  
しい 古山 哲子  
地名を訪ねるレポート  
馬渡地区を歩く 2013.5.9 松平喜美代  
佐倉地名研究会 立崎氏『うすい』  
に論文発表/地名を訪ねる会  
9月 臼井八景の地名を訪ねる、  
10月 上座の地名を歩く/研修  
・バス旅行 11月 古河公方の  
地を訪ねる/会員募集/原稿募  
集/会合の予定

◆十六世紀史論叢

〒272-0804千葉県市川市南大野2-4  
A棟604号 渡邊方 2013年創刊  
www.rak2.jp/hp/user/akamatsushi/  
◇1 2013.3 A5 127p  
慶長期の公式関係  
―昵近衆の成立をめぐる 神田 裕里  
関ヶ原合戦前後の上杉氏と情報伝  
達―情報伝達経路と「上方散々」  
の解釈 今福 匡  
元龜二年の『堂上次第』について  
―特に左京大夫家康(三川徳川)  
に関する記載を中心に 赤坂 恒明  
戦国期下総国分氏における矢作惣  
領家と庶流 石渡 洋平  
天正十年三月における羽柴秀吉禁  
制をめぐる 渡邊 大門

書評と紹介 菅野郁雄著『戦国期  
の奥州白川氏』 市野澤 永

◆千葉史学 千葉歴史学会

〒263-0022千葉県市稲毛区弥生町1-33  
千葉大学文学部内 TEL043-251-1111  
年4000円 1982年創刊  
history.l.chiba-u.jp/~chibareki/  
◇62 2013.5 A5 154p  
2代会長 宇野俊一さんを偲ぶ  
宇野君との思い出片々 三浦 茂一  
宇野さんと桂太郎 下村 由一  
宇野さん、あとでまた 吉村 武彦  
宇野俊一さんを悼む 栗屋憲太郎  
県史編さん事業での宇野先生 高林 直樹  
宇野俊一先生をおくる 大庭 邦彦  
学生を惹きつけた「宇野ゼミ」 吉村 英和  
宇野俊一先生と県史編さん 松浦 眞二  
憲政資料室での宇野先生 齊藤 伸義  
宇野俊一先生の思い出 中澤 恵子  
宇野先生との思い出  
―「千葉県史」のことなど 中村 政弘  
千葉県史編さん近現代史部会長  
としての宇野先生 池田 順  
古代の夷瀧と蝦夷戦争―上総国夷  
瀧郡の神火を中心に 河名 勉  
室町中期の常陸大掾氏 中根 正人  
『家忠日記』にみる下総国の水陸  
交通 石渡 洋平  
地域における虚無僧の位置づけに  
ついて―佐倉藩城付領を事例に  
長谷川佳澄  
高岡高等商業学校時代の熊信行  
―歌集『まるめら』における在  
地的展開を中心として 仙石 和道  
書評 木下聡著『中世武家官位の  
研究』 谷口 雄太  
新刊紹介

加藤公明・和田悠編『新しい歴史教育のパラダイムを拓く』宮原 武夫 千葉県歴史教育者協議会編『おはなし千葉の歴史』 中臺 希実 資料保存活動 千葉歴史・自然資料救済ネットワーク第2回勉強会 多田あゆみ／井上知明

◆日本村落自治史料調査研究所研究紀要

〒299-4213千葉県長生郡白子町八斗16-1 川村優方 TEL0475-33-5582

◇17 2013.6 A5 67p

バジル・ホール・チェンバレンのお札コレクション—神社のお札と神代文字を中心にして 千々和 到 東総 下総国香取郡須賀山村四給旗本における地頭普請実行の実態分析の一例 川村 優 丸山二郎教授から拝受した『本納町史』昭和30年10月10日発行(吉川弘文館刊)の序文 川村 優 主として19世紀以降、日本史上における事件の周期的動向に関する試論についての再考—歴史学研究の未来予見性を高めるために 川村 優 提 案

房総における壬申の乱の伝承 松井 安俊 房総書誌題目(4)—「地方史研究」新刊案内から 井上 隆男 情報 いすみ市役所総務部「波の伊八伝」、「白里浜いわし文化顕彰碑」の建立 井上 隆男

◆房総石造文化財研究会会報

〒270-0221千葉県野田市古布内1682-3 石田年子方 TEL04-7196-3375 年3000円 1980年創刊

◇118 2013.7 B5 12p

25年度定期総会終了／石仏入門講座のお知らせ 下総の疱瘡神塔について—石田年子、疱瘡神の信仰—疱瘡神に託す思い 木原律子／石仏見学会のご案内 千葉市の姥神塔を巡る 成田市の石造物紹介(1)

北羽鳥南部共同利用施設前 土井 照美 新刊紹介 『芝山町史・石造物編』 佐倉周辺の出羽三山碑 一出羽三山信仰の始原に迫る 田中 征志 石仏探訪(9) 行倒れ塔(1) 東総の任人を祀る行倒れ塔 石田 年子 初夏の石仏見学会 香取市大戸の下総板碑を巡る

◆アーカイブズ

独立行政法人国立公文書館 〒102-0091東京都千代田区北の丸公園3-2 TEL03-3214-0621 www.archives.go.jp

◇50 2013.6 A4 82p

国立公文書館長就任の御挨拶 加藤 丈夫 「アーカイブズ」創刊50号に寄せて 高山 正也 〈特集 公文書等の評価選別について—平成24年度アーカイブズ研修Ⅱグループ討論より〉 平成24年度アーカイブズ研修Ⅱについて 国立公文書館 評価選別基準の策定又は見直しについて 佐藤 彩 アーカイブズとして保存する文書を選び出すためのアプローチについて 寛 雅貴 評価選別基準の課題解決に向けて—実務面と制度面からの対策 青柳 智之 よりよい評価選別を行うためのあ

るべき文書のライフサイクル 山田 之恵 平成23年度における公文書等の管理等の状況について 依田 健 「国立公文書館が大阪大学にやってきた」を開催して 菅 真城 「近代国家日本の登場—公文書にみる明治—」開催報告 水野 京子 沖縄県公文書館のデジタル・アーカイブズへの取り組み—不具合の低減を目指して 堀川 輝之 佐賀県公文書館の紹介 古賀 正喜 開館2年を迎えたふるさと府中歴史館—公文書史料室の開設、そして現在 庄司 明由 中之条町歴史と民俗の博物館「ミュージゼ」の紹介 福田 義治 英国国立公文書館の新たな記録収集方針について 中島康比古 国際公文書館会議(ICA)の新憲章について 中山 貴子 「アーカイブズ」50号までのあゆみ 情報誌「アーカイブズ」歴代編集担当 アジア歴史資料センターの提供資料拡大に向けた新しい取り組み 平野 宗明 国立公文書館の動き(平成25年3月～5月)／平成25年 連続企画展(前半)のご案内／平成25年秋の特別展のご案内

◆赤米ニュース 東京赤米研究会

〒186-0005東京都国立市西3-7-29 アゼリア国立Ⅱ101 長沢方 TEL042-577-6855

◇195 2013.6 B5 8p

2013年版赤米栽培マニュアル 6月の赤米作り

お知らせ 赤米種子の追加配布、播種後10日目(5/14)の標準生育状況、赤ごめ学校閉校式、芋野

郷赤米保存会発足／おたより 「町田弁当」の黒米(長沢利明) 赤米雑話(151) 83 福井県の赤米・つづき／84 種子島の茎永をたずねて 長沢 利明

◆あしなか 山村民俗の会

〒132-0031東京都江戸川区松島1-19-17 サトービル TEL03-5663-6748 年5000円 1939年創刊 www8.ocn.ne.jp/~sanmin/

◇298 2013.6 B5 20p

表紙解説 伊豆日金山中より望んだ富士山の図(司馬江漢画) 編集室 「おこ地蔵」と「ヤカン」の怪異—横浜市金沢区釜谷郷の「やぐら」に見る 大喜多紀明 「騎馬民族征服王朝」説の波紋 鷲頭 隆 下名栗の仙元庚申(後)—奥武蔵小沢・富士行者周辺を歩く 岡倉 捷郎 山里だより(18) 丹波山地は怖いことばかり 一美山町 西浦 左門 造林・造園学の草分け—「秩父の大恩人”本多静六の碑移設

旅の草ぐさ(12)

神々の出征—岩手県湯田町で聞いた話 ほか 浅野 明 信州戸隠の橋供養塔 平出 一治 時の風(切抜帖から)「稲畑の御霊神社」研究論文寄稿(丹波新聞)

あしなか通信／文献紹介

◆足立史談

足立区教育委員会足立史談編集局 〒120-0001東京都足立区大谷田5-20-1

足立区郷土博物館内 TEL03-3620-9393  
 ◇544 2013.6 A4 4p  
 潤徳・足立学園の堀内先生胸像再  
 建彫刻家と「波の伊八」につい  
 て 相川謹之助  
 戦前戦後の小右衛門町の思い出(7)  
 金井 富江  
 企画展「昭和はじめの物語—戦前  
 戦中のくらしと映像—」7月23  
 日(火)~9月16日(月・祝)  
 ◇545 2013.7 A4 4p  
 千住の大相撲—東京大相撲をよん  
 だ明治の「大千住」 多田 文夫  
 喜多村良宅の年譜 青木 昇  
 戦前戦後の小右衛門町の思い出(8)  
 金井 富江  
 企画展「昭和はじめの物語」より  
 —疎開方針決定から70年

◆足立史談会だより

〒120-0001東京都足立区大谷田5-20-1  
 足立区郷土博物館内 TEL03-3620-9393  
 ◇303 2013.6 A4 8p  
 夏季区民教養講座 学童疎開から  
 何を学ぶのか/区民研究発表会  
 発表者募集/郷土史料刊行会  
 から  
 合衆国首府「ワシントンの桜」(9)  
 東京都建設局公園緑地部編著  
 1960年刊 桜寄贈を軌道にのせ  
 たヒロイン(2)  
 足立区の文化財 有形文化財(古  
 文書)「報恩社法録」、関原不  
 動尊略縁起(版木)、「地誌」4  
 点、千ヶ崎家文書 1点、船津  
 家文書 2点  
 5月探訪報告 表参道から明治神  
 宮へ/町会行事になった押部の

百万遍  
 福沢諭吉家出入りの千住の棟梁  
 金杉大五郎(2) 福澤諭吉の書  
 翰の中から 千住・勝専寺鐘楼  
 銘板の「金玉均」に関連して  
 おめでとう潤徳学園創立九〇周年  
 おかげさまで九〇年 第一号  
 おかげさまで九〇年 第二号  
 潤徳の創立者 堀内亮一先生  
 /初代校長 牧野菊之助先生  
 /そして初代幹事 小林象三  
 郎先生/さて『潤徳』という  
 校名の由来  
 先駆けの「足立史談」(3) 葛飾史  
 談14号(昭和28年)「足立区史  
 料展覧会に就いて」田辺弥太郎  
 矢沢幸一朗

◇304 2013.7 A4 8p  
 学童疎開・高井寺でのくらし  
 区民研究発表会 発表者追加募集  
 します/大正記念道碑 地盤強  
 化工事/焙烙灸・土用丑の日/  
 史談大学/見沼通船掘通船実演  
 見学会  
 合衆国首府「ワシントンの桜」(10)  
 「東京都建設局公園緑地部」編著  
 1960年刊 桜寄贈を軌道にのせ  
 たヒロイン(3)/東京市、ワシ  
 ントンにむけて桜を贈る  
 足立区の文化財 有形文化財(古  
 文書) 松田家文書 1点(北条  
 氏政感状)、金子家文書 21点、  
 下村家文書 2点、野部家文書  
 1帖、唐松家文書 1点  
 江戸城 城門探索(1) (矢)  
 先駆けの「足立史談」(4) 足立  
 史談へ繋ぐ「葛飾史談」から  
 葛飾史談に記された足立区 矢沢幸一朗

足立史談会へ繋ぐ「葛飾史談」14  
 号(昭和28年)「花又驚大明神  
 博奕禁止文書と古川柳」磯部鎮  
 雄  
 夏越しの大祓い・茅の輪めぐり  
 6月30日・各地の準備/7月1日・  
 区内でもお山開き

◆あるむぜお 府中市郷土の森博物館  
 〒183-0026東京都府中市南町6-32  
 TEL042-368-7921 1987年創刊  
 www.fuchu-cpf.or.jp/museum/  
 ◇104 2013.6 A4 10p  
 多摩川と府中(1) 府中の鮎漁 佐藤 智敬  
 特別展 あしもとネイチャーワー  
 ルド 多摩川にアユが帰ってき  
 た! 2013/7/20(土)~9/1(日)  
 中村 武史

展示会案内 ボランティアによる  
 歳時記展 むかしの夏のくらし  
 7月13日(土)~9月5日(木) 佐藤 智敬  
 最近の発掘調査 武蔵台のせんげ  
 ん山 武蔵町二丁目 西野 善勝  
 NOTE 安政コレラ騒擾記—信仰  
 を集めた寺社 花木 知子  
 知る人ぞ知る!府中ゆかりの人物  
 (9) 松村弁治郎 花木 知子  
 平成24年度 寄贈・寄託資料一覧  
 /平成24年度 利用状況/新刊  
 案内/「あるむぜお」は定期購  
 読できます!  
 連載 天文・宇宙の最新動向(1)  
 天文・宇宙開発の現在 本間 隆幸

◆奥武蔵 奥武蔵研究会  
 〒169-0075東京都新宿区高田馬場2-10-12  
 加藤恒彦方  
 ◇392 2013.7 B5 29p

良き下山家になりたい 加藤 恒彦  
 柳田國男が見た吾野 町田 尚夫  
 奥武蔵・秩父の獅子舞(47)  
 一天王様、福田の獅子舞 関口 洋介  
 安全対策部コラム 第3回  
 地図読み(3) 坂田 康明  
 山行報告  
 和光市の湧水と花 岡野 守  
 北本グリコピアと北本宿 齊藤 慶広  
 滑沢山から扇山 村木 悦子  
 赤城山と周辺の山 加藤 恒彦  
 陣見山から岩谷洞と百体観音 西東 昭夫  
 都庁展望室と千駄ヶ谷富士塚  
 藤本一美/服部英昭  
 続編・奥武蔵中世の城跡を歩く  
 (1) 青山城・小倉城 小泉 重光  
 大仁田山から都県界尾根 成川 茂雄  
 大蔵経寺山 坂田 康明  
 丹沢表尾根 河野 尚久  
 高幡不動尊から平山城址 藤本 一美  
 続編・奥武蔵中世の城跡を歩く  
 (2) 用土城・桜沢砦・猪俣城  
 藤本一美/町田尚夫  
 弘法山から桂木観音 関口 洋介  
 伊豆ヶ岳 成川 茂雄  
 武甲山 関口 洋介  
 会務報告/山行計画

◆儀礼文化ニュース 儀礼文化学会  
 〒160-0012東京都新宿区南元町13-7  
 TEL03-3355-4188  
 ◇191 2013.7 B4 8p  
 遠野の里に鹿が跳ねるとき 岩手  
 県遠野市上郷町 日出神社 板  
 澤のしし踊り 久保田裕道  
 これからの催しもの案内 儀礼文  
 化講座/儀礼文化セミナー/第  
 23回関西支部 秋季学術大会

レポート

儀礼文化講座 第1回 5月12日  
 (日) フラワーデザイン「ヨーロッパにおける花のこころーリースと花束の軌跡」講師：川崎景介 佐々木 寛

儀礼文化講座 第2回 6月9日  
 (日) 有職故実「着袴・深曾木と装束」講師：仙石宗久 佐々木 寛

儀礼文化セミナー 第1回 5月24日(金) 民俗「新しい民俗文化展示室の見学と解説」後藤 正明

住吉大社の御田植神事参観 第33回地方大会は大阪府へ 一日目 参拝と講義 佐々木 寛  
 二日目 御田植神事参観 石井 一躬

御田植神事レクチャー 小出英詞先生・八木意知男先生 佐々木 寛

八月 月ごとの歳事 渡辺良正の祭りスケッチ 三重県 波切の大念仏／かんこ踊り 渡辺 良正

書 棚 飯塚好著『三頭立て獅子舞 歴史と伝承』 久保田裕道  
 岡本彰夫著『神様にほめられる生き方』 後藤 正明

社会の眼 宗教法人は資産運用をできるの? 空本 光弘

沖縄の伝統芸能「組踊」を観にいきませんか 組踊の芸術ー古典化の軌跡 狩俣 恵一

くらしひとこと 木下闇とそぞろ歩き 柳原 紀子

新会員を募集／甲事 小堀光詮氏／行ってみませんか

◆杉並郷土史会史報  
 〒167-0022東京都杉並区下井草3-12-9  
 新村康敏方 1973年創刊  
 www.sugi-chiiki.com/rekishikai/  
 ◇240 2013.7 A4 10p 400円

萩外荘の活かし方 新村 康敏

江戸の消化システム 一軍政から民政へ 真板 道夫

総会開催／新会員の皆さん(敬称略・順不同)／平成24年度事業報告／平成24年度 杉並郷土史会収支決算告書

四谷見附周辺の寺町から 消防博物館を訪ねて(24年7月1日) 服部 建人  
 四谷にひかり輝く女性たち 新村 康敏

行事予定／東京文化財ウィーク史跡めぐり 蚕糸の森公園から旧和田堀内村の文化財を訪ねて

◆西郊民俗 西郊民俗談話会  
 〒160-0016東京都新宿区信濃町17-1  
 大島方 年2000円 1957年創刊  
 www11.ocn.ne.jp/~oinari/  
 ◇223 2013.6 B5 33p

仙北における野兔の民俗ーミミにまつわる一面を中心に 天野 武  
 福神としての狸々 大島 建彦

越中黒部奥山の穴熊狩り伝承ー富山県黒部市宇奈月町音沢の場合 森 俊

狛江市の生業覚書(5) 長沢 利明

◆せたかい 世田谷区誌研究会  
 〒154-0024東京都世田谷区三軒茶屋1-5-6  
 横山精太郎方 TEL03-3421-7692  
 年2000円 1951年創刊  
 fsv.setagaya-kushiken.jp  
 ◇65 2013.7 B5 89p 1000円

巻頭言 はじめに 横山精太郎

寄 稿 櫻井正信先生を悼む 瀬村 進  
 戦前の「せたかい」を顧みて 瀬村 進  
 旧「荏原郡松澤村」に残された伝説 大庭 光治  
 私の玉電追憶(1) 大塚 勝利  
 千葉宮崎家文書調査報告 谷口 雄太  
 駒沢小学校と品川用水(2)ー展示「思い出の品川用水」 市川博正／尾崎隆子

青春切符で吉良氏発祥の地・他を訪ねる 編集部

復刻 世田谷ボロ市の歴史

世田谷区誌研究会24年度の記録(講演会、見学会)  
 午後の史跡散歩「三軒茶屋界限」 内山 昌玄

バス見学会「大雄山最乗寺・小田原城」 奥野 徳男

講演会「戦国時代の交易と世田谷」(河原英俊氏・世田谷区誌研究会学術顧問) 河原 英俊

バス見学会「諏訪大社・高島城ほか」 秋山清太郎

講演会「世界一の水道・玉川上水」(濱中正之氏・世田谷区生涯大学専任講師) 内山 昌玄

バス見学会「玉川上水」 中井 盛久

バス見学会「玉川上水」参加所感 秋山清太郎

講演会「世田谷の仏教美術」(鈴木泉氏・世田谷区立郷土資料館) 武居 義之

午後の史跡散歩「世田谷の小京都・烏山寺町」 武居 義之

世田谷区誌研究会平成25年度事業計画  
 世田谷区誌研究会平成24年度会計

報告  
 世田谷区誌研究会平成25年度予算事務局からのお知らせ

◆全日本郷土芸能協会会報  
 〒107-0052東京都港区赤坂6-7-14 パークハウス赤坂氷川102 TEL03-3583-8290  
 年2000円 1995年創刊 www.jfpaa.jp  
 ◇72 2013.7 A4 24p

粟生の獅子舞 石川県能美市粟生町平成25年度定時社員総会 開催報告  
 会員特典のお知らせ／無形文化遺産保護条約採択10周年記念シンポジウム

東日本大震災・郷土芸能復興支援のプロジェクト事業 民俗芸能で広がる子どもの世界 第15回 全国こども民俗芸能大会 第1回伝統文化継承フォーラムー地域再生支援と子どもたちが取り組む民俗芸能の継承

寄稿 八雲神社の由来と太々神楽 吉永 進

第11回オーライ！ニッポン大賞募集中

東日本大震災後の全郷芸と会員の動き

東日本大震災・郷土芸能復興支援のプロジェクト 助成第3次助成活動を決定

被災地レポート 宮城県石巻市の神楽は今ー雄勝法印神楽と大室南部神楽 (小岩)

第23回全国地芝居サミット in 神戸 神戸市北区の農村歌舞伎舞台を中心に 平成26年4月19日(土)・20日(日)開催決定

地芝居探訪(47) 小鹿野春祭り歌

舞伎公演／東谷農村歌舞伎「祇園座」／横仙歌舞伎／秩父歌舞伎正和会／小原歌舞伎  
地芝居公演情報 7月下旬～9月／奥内歌舞伎の大道具焼失  
会員紹介 東御市教育委員会／津東町歌舞伎保存会  
地芝居見聞(11) 鮭川歌舞伎 北河 直子  
人形芝居観覧記 ひとみ座乙女文楽 第3回若手公演 北河 直子  
地芝居あれこれ(11) 芝居小屋「八千代座」のいま 蒲池 卓巳  
民俗楽器(48) 南インド、カルナータカのナーガマンダラ(蛇神儀礼)とタイコ 山本 宏子  
祭暦 2013 7月～2013 10月／夏～秋の芸能イベント情報2013／出演募集 まつりイン台湾 2013(in 高雄)  
空白の沖縄芸能史(2) 嗚呼！我青春の唄が聞こえる 中坪 功雄  
全国民俗芸能保存振興市町村連盟 平成25年度総会 愛知県東栄町で開催／三善研究所メイクアップ講習会  
会員情報／郷土芸能なう！！／会員かわら版  
佐渡が誇る郷土芸能「つぶろさし」をついに見た！／鹿踊、米国に行く／寄贈戴いた資料 2013年4月～6月

◆**大道芸通信** 日本大道芸・大道芸の会  
〒157-0061東京都世田谷区北鳥山2-3-9-101  
光田憲雄 TEL03-3307-2146  
www.k5.dion.ne.jp/~daidoge/  
◇252 2013.6 A4 2p 100円  
水茶屋

嬉遊笑覧  
◇253 2013.7 A4 2p 100円  
出しみせ・床見世  
『守貞漫稿』が載せる生業

◆**地方史研究**  
地方史研究協議会(発売:岩田書院)  
〒111-0032東京都台東区浅草5-33-1-2F  
年6600円 1951年創刊 chihoshi.jp  
◇363 (63-3) 2013.6 A5 106p 1143円  
15・16世紀北陸地方における通貨事情—文献史料と考古資料の観点から 小早川裕悟  
伊達・蘆名領国境と桧原城 垣内 和孝  
第54回日本史関係卒業論文発表会  
要旨 舟久保大輔／香川将慶／姜錫正／印南志帆／横山真那美／富田みちる／臼井和樹／熱田順／小田切悠紀／杉山哲司／守屋龍馬／川原竜太／秋山寛行／野口陽子／井浪直人／田坂杏奈／水野初音／高橋未来／稲村隆／茨木崇／田中智大／大和友紀弘／西山直志／中村紫帆

動 向  
福島大学うつくしまふくしま未来支援センター設立2周年記念 第6回シンポジウム「ふくしま再生と歴史・文化遺産」  
参加記 渡辺 文久  
シンポジウム「ふくしま再生と歴史・文化遺産」参加記 栗原 健一  
平成24年度千葉県美術館・博物館等職員研究会兼公開シンポジウム「博物館資料はなぜ救済されなければならないのか?—東日本大震災の教訓—」に参加して 菅野 洋介  
ピースおおさか展示リニューアル

ル問題 小田 康徳  
2012年度陵墓立入り観察について参加報告記—箸墓古墳・西殿塚古墳 齊藤 進  
石川県五学会連合研究発表会 河村 好光  
展示批評 葛飾区制施行80周年記念特別展「東京低地災害史 地震、雷、火事?…教訓!」を観て 渡部 恵一  
研究例会報告  
2012年11月21日例会報告  
仙台藩廻米体制における穀宿の機能 井上 拓巳  
2013年1月31日例会報告  
天明三年浅間焼け絵図にみる構図の変化のランドマーク 福重 旨乃  
地方史の窓／新刊案内／各種委員会報告／事務局だより  
福島県警戒区域の再興を担う博物館の復興・再生に向けて(提言)

◆**東京産業考古学会 NEWSLETTER**  
〒173-0011東京都板橋区双葉町22-8-403  
多田統一方／〒352-0011埼玉県新座市野火止4-8-43 柚須絃一方 FAX03-3964-8548  
tias3.web.fc2.com  
◇101 2013.7 A4 6p  
磯部鑑石資料館／行事予定  
馬場永子理事が功労者表彰受賞報告 基礎講座「満州の上下水道を造った日本の技術者たち」第1回(前編)5月18日／第2回(後編)6月15日 吉田 修  
お知らせ 調査研究支援事業の公募について／第3回理事会の議事概要／第4回理事会の議事概要  
学会論文集「産業考古学研究」の

発行について  
新刊紹介1『世界に誇る東京のモノづくり 輝く技術光る企業 vol.7』2012年 東京都産業労働局発行 A4判 58ページ(非売品)／新刊紹介2『近代化遺産を学ぶ』小西伸彦著 2013年3月 高梁市産業経済部産業振興課 非売品 多田 統一  
セルロイドハウス横浜館紹介 松尾 和彦  
茨城県牛久市の赤煉瓦建築物(5) 「シャトーカミヤ(牛久シャトー)旧貯蔵庫」(5) 八木 司郎

◆**日本民俗音楽学会会報**  
〒190-8520東京都立川市柏町5-5-1  
国立音楽大学 山本幸正研究室気付 www.s-jfm.org  
◇39 2013.7 B5 24p  
巻頭言 民俗音楽譜資料のアーカイブスの期待 藤井 知昭  
日本民俗音楽学会第27回〈糸川川大会〉のご案内 伊野 義博  
会員の皆様への手紙 小島 美子  
新たなステップへ  
—事務局長の役割を終えて 小野寺節子  
福島県の被災後の民俗芸能の復活状況 懸田 弘訓  
会員の広場  
ブータン音楽文化の諸相 黒田 清子  
最近読んだ本から 丸山 妙子  
わが村 野念仏の里 山本 和正  
会則・施行細則の改正作業について 入江 宣子  
第2回例会報告  
全体報告 寺田真由美  
“わらべ唄”療法の可能性 森 明日佳  
音階判別に関わる諸問題 河瀬 彰宏

例会発表を終えて 福田 裕美  
常置委員会から  
機関誌編集委員会 小林 公江  
行事企画委員会 星野 紘  
調査研究委員会 加藤富美子  
会報編集委員会 桂 博章  
事務局からのお知らせ 河瀬 彰宏

◆練馬郷土史研究会会報

〒177-0041東京都練馬区石神井町2-28-31  
吉越正博方 TEL03-3996-4454  
1956年創刊  
◇346 2013.7 A4 4p  
昭和三十年代～四十年代の練馬と  
今 葛城 明彦  
東京市養育院と彼のひとびと（後  
篇6）一児玉花外・島崎こま子・  
長谷川利行・物集高量 日向康三郎  
昭和史雑感 昭和天皇と將軍達  
（18）真崎甚三郎（15） 鎌田 茂男

◆練馬古文書研究会会報

〒177-0053東京都練馬区関町南4-15-3-603  
鈴木方 TEL03-3920-3627 1985年創刊  
www.7b.biglobe.ne.jp/~tagame-y/  
◇50 2013.6 B5 6p  
講演録 中近世の武士の官位とそ  
の特徴 木下 聡  
近世武家官位制の成立(2) 保戸塚太地  
書状講座(5)  
伊丹勝長書状(折紙) 柴辻 俊六  
信長腰掛の松 武田 健作  
事務局通信 平成25年度総会報告  
鈴木 義範

◆PRISM

立教大学共生社会センターニューズレター  
〒171-8501東京都豊島区西池袋3-34-1

TEL03-3985-4457  
www.rikkyo.ac.jp/research/laboratry/RCCCS/  
◇5 2013.6 A4 4p  
「史料読み」と練馬母親連絡会資料  
沼尻 晃伸  
「練馬母親連絡会資料」のご紹介 平野 泉  
つくる・うごく・つながる(5)  
『Voice』発行：なくそう戸籍  
と婚外子差別・交流会 創刊：  
1989年 田中須美子さん  
来館者よりひとこと  
平城智恵子さん、林美帆さん  
センター主催公開講演会のお知らせ  
鹿野政直氏講演『民間学再  
考—鶴見良行に寄せて—』

◆文化財ニュース

千代田区立日比谷図書文化館  
〒100-0012東京都千代田区日比谷公園1-4  
TEL03-3502-3348 2012年創刊  
hibiyal.jp/bunkazai/

◇4 2013.6 A4 8p  
表紙 「紀元式千五百三十七年六  
月造」と刻まれた親柱／明治初  
期の石橋・常磐橋の修復工事は  
じまる  
特集 平成25年度指定文化財紹介  
栖岸院跡出土資料 140点／紙  
本着色神田明神祭礼図巻 3巻  
平成24年度文化財特別展「徳川将  
軍家の器」を終えて 水本 和美  
埋文ニュース  
紀尾井町遺跡の今昔 斎藤 一真  
新刊紹介 『千代田の古文書2—御  
上洛御用留 旗本小笠原家資料  
他—』 滝口 正哉  
既刊報告書紹介 文化財調査報告  
書23『あの日のほくら—区内幼

稚園・小学校紙芝居関係資料報  
告書— 小山 貴子

◆民衆史研究 民衆史研究会

〒162-8644東京都新宿区戸山1-24-1  
早稲田大学文学部 大日方研究室内  
1962年創刊  
◇85 2013.5 B5 44p 1500円  
《特集 「荘園調査」の現在地》  
特集にあたって 民衆史研究会委員会  
荘園絵図調査の実践から 井上 聡  
下総国下河辺庄の現状と課題 坂田 聡  
丹波国山国荘地域の現地調査・そ  
の成果と課題 永井 晋  
シンポジウム討論要旨  
展示会短評 東京国立博物館  
特別展「大神社展」 大島 創

◆武蔵保谷村だより 高橋文太郎の『武蔵保  
谷村郷土資料』を手掛かりに

下保谷の自然と文化を記録する会  
〒202-0004東京都西東京市下保谷3-18-3  
高田賢方 TEL042-478-3820 2011年創刊  
◇10 2013.7 A4 32p \*終刊  
アチック・ミュージアム「水産史  
料」の意義について 加藤 幸治  
今和次郎と“『日本の民家』園”—  
「日本民族博物館 全景」をよむ 本橋 仁  
父松本信広と民族学博物館 松本 浩男  
年貢増徴と下保谷村名主清左衛門 松尾 政司  
武蔵野における民家の屋根葺き替  
えについて 高橋 孝  
保谷村の養蚕について 近辻 喜一  
半世紀の間に失われた野辺の草花  
—保谷・近隣地における自然雑  
感 馬場 恒夫

保谷ことば—暮らしの中で使われ  
ていた言葉 本橋 俊雄  
資料紹介と解説 「渋沢敬三らの  
穂高町探訪調査」(1) 高田 賢  
Columu 旅はまだ…… 亀田 直美  
今秋開催!! 「民族学博物館」を  
めぐる企画事業のご案内 シン  
ポジウム「幻の民族学博物館—  
渋沢敬三・今和次郎・高橋又太  
郎・宮本馨太郎の夢の軌跡—(仮  
題)」／野外展示物再現模型制作  
・展示「武蔵野の民家」／ジオ  
ラマ制作・展示 よみがえれ!  
「民族学博物館」  
ニュース!!  
新資料発見 高田 知子  
民族学博物館ゆかりのスタジイ  
を未来につなぐ! 萩原 恵子  
編集後記—終刊にあたって (M)

◆明治維新史学会だより

〒154-8525東京都世田谷区駒沢1-23-1 駒  
澤大学第一研究館 文学部歴史学科 小泉  
雅弘研究室 2004年創刊 www.ishinshi.jp  
◇19 2013.5 B5 12p  
2013年度第43回明治維新史学会大  
会の案内  
〈2013年度明治維新史学会大会報告要旨〉  
明治維新と在村社会—南多摩郡多  
摩村における和歌を中心に 清水 裕介  
万延・文久期の海軍建設 金澤 裕之  
—艦船・人事・経費  
民権家「婦人」の近代 田崎 公司  
—一首都民権と激化事件  
明治十年代における旧藩主家と士  
族銀行—柳河第九十六国立銀行  
を事例に 内山 一幸  
育英事業と同郷会・旧藩団体・将

官養成会・郡一米沢有為会と米沢教育会における育英観と人材観を事例として 布施 賢治  
2012年度明治維新史学会秋期大会記事  
(2012年度明治維新史学会秋期大会討論要旨)  
中村武生氏「池田屋事件再考—進発・天誅・一会桑—」 町田 明広  
時広雅紀氏「譜代藩の「明治維新」—彦根藩を素材として—」 後藤 敦史  
岩立将史氏「明治百年と赤隊隊」吉岡 拓  
大会運営委員会日より／会誌編集委員会日より／例会運営委員会日より

◆郵便史研究 郵便史研究会  
〒112-0011東京都文京区千石2-42-7  
田中寛方 TEL03-3945-2497 年3500円  
1995年創刊 www.yuubinshi.sakura.ne.jp  
◇35 2013.6 B5 52p 2000円  
横浜洋菓子事始  
—ペイル兄弟の足跡 小林 彰  
一等郵便電信局長から知事・大臣  
へ—川村竹治伝 山崎 善啓  
史料紹介 ていばーく(通信総合博物館)資料紹介(19) 皇女和宮降嫁関連資料 井上 卓朗  
史料紹介  
旧刊紹介(9) 『郵政建築 通信からの軌跡』 鈴木 克彦  
小包送票異聞(9) 加藤 秀夫  
近刊紹介  
MATSUMOTO JUNICHI: A HISTORY OF THE FRENCH POST OFFICE OF YOKOHAMA 小林 彰  
藪内吉彦 日本郵便創業の歴史

田原 啓祐  
板橋祐己 世界切手国名事典 星名 定雄  
P A T R I C I A  
L.MACLACHLAN: THE  
PEOPLE'S POST OFFICE 星名 定雄  
郵政歴史文化研究会編  
通信総合博物館研究紀要

◆わだつみのこえ わだつみのこえ記念館  
〒113-0033東京都文京区本郷5-29-13  
赤門アビタシオン1階 TEL03-3815-8571  
www.wadatsuminokoe.org  
◇138 2013.7 A5 116p 1000円  
声明「学徒出陣70周年にあたり—戦没学徒・戦没者の遺念を不戦の道へ」賛同者名・賛同意見  
安倍改憲を弾劾する—日本国憲法の原点としての「わだつみ」と  
沖縄の原点に立って 小林 武  
2012年12・1集会の記録 テーマ  
今こそ不戦の誓いをあらたに  
講演「アジア・太平洋戦争期の  
国民総動員体制」 吉田 裕  
質疑応答  
12・1 不戦の集いアピール  
アンケート  
タシケントの墓(承前) 白井 成雄  
第9回「わだつみフォーラム」の記録  
講演「大学における戦没者追悼  
を考える」 白井 厚  
講演を聞いて  
現代史への教訓—戦艦大和沖縄特  
攻作戦の真実 林 重太  
『山靴の画文や辻まことのこと』  
(駒村吉重著)を読む 内田 雅敏  
今、思うこと 長田 孜  
書評 『もう一つの強制連行—謎

の農耕勤務隊』(雨宮剛編著) 秋岡 あや  
書評 『東南アジア占領と日本人—帝国・日本の解体』(中野聰著) 田口 裕史  
テレビ評「それでも私は生きたい—いま明かされる戦災孤児の実像」 石橋 星志

◆わだつみのこえ記念館だより  
〒113-0033東京都文京区本郷5-29-13  
赤門アビタシオン1階 TEL03-3815-8571  
www.wadatsuminokoe.org  
◇7 2013.7 A4 4p  
「学徒出陣」70年記念特別展示  
戦没学生遺稿遺品展 8月12日(月)~14日(水) 於・江戸東京博物館ホール  
認定NPO法人となりました  
図書資料コーナーより 昭和十八年の日記 日記抄 後藤弘／ある日記 熊谷直孝  
来館者の「感想ノート」より  
零 墨 志田 康宏  
第9回わだつみフォーラム「大学における戦没者追悼を考える」  
講師:白井厚氏 3月23日(土)  
SBSスペシャル「希求—ある野球人が投じた一球—」／短信  
文京ミュージズネット、平和のための博物館・市民ネットワーク  
第12回全国交流会

◆小田原史談 小田原史談会  
〒250-0003神奈川県小田原市東町1-21-18  
平倉正方 TEL0465-34-8363 年3000円  
1961年創刊 odawara-shidan.hustle.ne.jp  
◇234 2013.7 A4 28p  
三代目辻村甚八郎と吉田島村(上)

藤平 初江  
こゆるぎ座創世記(下) その2  
野地敏雄さんの語り／その3  
北條美智留さんの語り／その4  
関口秀夫さんの語り  
こゆるぎ座第61回公演予告／新会員紹介  
ラフィンの思い出(下)  
—晩年の土方ハルが語った 土方 壮三  
小田原の郷土史再発見 小田原の  
総鎮守・松原神社と別当・玉  
瀧 坊 石井 啓文  
小田原大秘録(巻一から巻三まで  
の読み下し文) 第四回巻二の一  
鳥居泰一郎  
史談再録(17) 第180号  
最乗寺道了尊と辻村甚八郎 内田 清  
『小田原史談会セミナー』開講さる  
第一講は「小田原宿の変遷」(平倉)  
伊豆の松崎町方面史跡巡り 河合多美江  
餅売りのおばば 『伊豆のむかし  
話』(風光社刊)より転載  
小田原史談会 史跡めぐり案内  
永平寺・一乗谷方面へ行きませ  
んか  
中村郷史跡巡り報告 (松島)  
平成25年度総会講演要旨  
小田原宿と浮世絵 杉山博久(幾一)  
平成25年度 総会報告 小田原史談会

◆鎌倉 鎌倉文化研究会  
〒248-0016神奈川県鎌倉市長谷3-11-2  
長谷寺宝物館内 TEL0467-22-6300  
1959年創刊  
◇115 2013.7 A5 86p 1500円  
北条時政とその娘たち  
—牧の方の再評価 山本みなみ  
永享九年の「大乱」—関東永享の

乱の始期をめぐって 呉座 勇一  
英勝寺客殿・仏殿・山門の年代に  
ついて 関口 欣也  
旧建長寺末寺考(8)―福岡県(筑前  
・筑後・豊前国)編 鈴木 佐  
余録 鎌倉乃記(10)―与謝野晶子  
・寛、そして鎌倉(5) 梅花の日  
(2) 坂本 俊雄  
游酔庵文庫所蔵『教業記(保延七  
年記)』翻刻(下) 伊藤 一美  
『亀谷山記録』(11) 鎌倉古文書研究会  
神奈川の窓(32)  
―「地方史研究」から 井上 隆男

◆市史通信 横浜市史編集室

〒220-0032横浜市西区老松町1 横浜市中  
央図書館地下1階 TEL045-251-3260  
2008年創刊  
www.city.yokohama.lg.jp/somu/housei/sisi/  
◇17 2013.7 A4 12p  
レンズがとらえた震災復興 松本 洋幸  
横浜に暮らした占領軍高級将校た  
ち 羽田 博昭  
開港百年と作家星野哲郎 百瀬 敏夫  
写真で見る昭和の横浜(7)  
震災から命を助けた池 百瀬 敏夫  
開架資料紹介 横浜市政務報告書  
百瀬 敏夫

市史資料室たより 平成25年度横  
浜市史資料室展示会「レンズが  
とらえた震災復興―1923～19  
29」/展示記念講演会「関東大  
震災の災害教訓―東京・横浜の  
比較から―」

◆首都研ネットワーク 首都圏形成史研究会

〒231-0021横浜市中区日本大通3  
横浜開港資料館気付 TEL045-201-2169

年2000円  
◇58 2012.10 B5 4p  
研究例会 第85回例会/次回の例  
会予定/事務局より  
後援事業報告 横浜市史資料室公  
開講座「横浜から昭和を探る―  
新しい昭和史像を求めて」 羽田 博昭  
新刊書/展示  
後援事業の報告 第29回歴史地震  
研究会(横浜大会)記念講演会 吉田 律人  
会員インフォメーション 新刊紹  
介 飯能市郷土館史料集 第一  
集『飯能戦争関係史料集』 牛米 努

◇59 2013.2 B5 4p  
研究例会 第86回例会/『年報  
首都圏形成史研究』の原稿募集  
について/事務局より  
新刊書/展示  
近刊『年報 首都圏形成史研究  
2012』/鈴木勇一郎・高嶋修一・  
松本洋幸編『首都圏史叢書7  
近代都市の装置と統治～一九一  
〇～三〇年代～』(日本経済評  
論社)

◇60 2013.7 B5 4p  
研究例会 第87回例会/定期総会  
2013年度定期総会/研究例会  
第88回例会/事務局より  
情報ネットワーク  
新刊書・論文/展示  
会員インフォメーション 新刊紹  
介 社団法人神奈川県建築士会  
編『図説 近代神奈川の建築と  
都市』/展示紹介 関東大震災  
90周年記念連携展示

◆年報 首都圏史研究 首都圏形成史研究会

〒231-0021横浜市中区日本大通3 横浜開

港資料館内 松本洋幸方 TEL045-201-2169  
年2000円 2011年創刊  
◇2012 2012.12 A4 86p  
準戦時期の肥料流通―埼玉県飯能  
町・石井辰五郎家の事例から 坂口 誠  
昭和戦前期内務省における防空の  
担い手―計画局・警保局を事例  
として 高橋 未沙  
戦後神奈川県における「混血児」  
教育問題 小山 景子  
研究ノート 大区・小区制下の東  
京における町・小区の「総代」  
各区町村金穀公借共有物取扱土  
木起功規則に基づく総代人制度  
の運用実態 池田 真歩  
書評  
王京『関東大震災における航空  
写真の登場と空間認識』 岩尾 光代  
老川慶喜『埼玉鉄道物語―鉄道  
・地域・経済―』 岡田 直  
郡司美枝『興農富村の研究 近  
代日本の稲作をめぐる農民の  
営み』 坂根 嘉弘  
北原糸子『関東大震災の社会史』  
澤内 一晃  
栗田尚弥編著『米軍基地と神奈  
川』 樋口 雄一

首都圏形成史研究会活動報告  
第81回例会 参加記 松本 洋幸  
第82回例会 参加記 松本 洋幸  
第83回例会 参加記 武田周一郎

◆扣之帳 扣之帳刊行会  
〒250-0021神奈川県小田原市早川60  
青木良一方 TEL0465-22-8852  
年2500円 2003年創刊  
hikaenochou.world.coocan.jp/mysite/  
◇40 2013.6 A5 92p 500円

はじめ塾をさかのぼる 和田 重宏  
はじめ塾と和田重正先生について  
岸 達志  
石本先生 和田 重宏  
酒匂だより「辣蕪」 町田紀美子  
備中伊勢氏の御家老の家系「笠原  
晁氏」(1) 今川 徳子  
桜町の年貢の運ばれた道 尾上 武  
ボクの映画館(20) 山田洋次再び  
―「母べえ」と「たそがれ清兵衛」  
平倉 正  
木守り柿 とく山たかし  
小笠原の歌びと 山田扶美子  
朗読『高瀬舟』 本多 博  
月明かりの鹿島踊り 西田 清三  
始まりの人(6) 珠光(上) 茂木 光春  
新刊紹介「治水神 禹王をたずね  
る旅」 大脇 良夫  
おけいのデンマーク遊学日記(4) 山浦 敬子

◆民具マンスリー  
神奈川大学日本常民文化研究所  
〒221-0802横浜市神奈川区六角橋3-27-1  
TEL045-481-5661 年3500円 1968年創刊  
◇543 (46-3) 2013.6 A5 24p 350円  
もう一つの「天明三年田山曆」 工藤 紘一  
民具短信 農書にみる唐箕の名称  
をめぐって 佐々木長生  
民具短信 私のおしゃもじ考(2)  
―「おしゃもじ」との遭遇「お  
しゃもじ」との再会 加藤 節男  
◇544 (46-4) 2013.7 A5 24p 350円  
牛乳瓶の始まりを探して 松本 友里  
明治の農具絵図(5)―明治一三年  
の農具絵図(3) 長崎県の進達  
文書の検討 桂 眞幸  
アチック・ミュージアムの民具コ  
レクション(37) 樋畑雪湖の妻

楊枝コレクション (4) 木村 裕樹  
書籍紹介  
『シリーズ昔の農具』全三巻 小川 直之

◆悠久

鶴岡八幡宮悠久事務局 (発売: おうふう)  
〒248-0005鎌倉市雪の下2-1-31  
TEL0467-22-0315 1980年第二次創刊

◇131 2013.7 A5 130p 680円

《特集 賀茂信仰 I》

口絵 賀茂社の社殿—賀茂別雷神社〔上賀茂神社〕と賀茂御祖神社〔下鴨神社〕

エッセイ 想像力とアニミズム 蜂飼 耳  
賀茂信仰と上・下賀茂社 宇野日出生  
記紀・風土記と賀茂氏—葛城の賀茂・山城の賀茂 丸山 顯徳  
齋院 榎村 寛之

王朝文学と賀茂神社—『古今和歌集』と『源氏物語』を中心として 針本 正行  
「カモ」信仰の分類 新木 直安

小論文

賀茂の遷宮 藤澤 彰  
鴨一族における鴨長明 小林 一彦

口絵解説 賀茂社の社殿—賀茂別雷神社〔上賀茂神社〕と賀茂御祖神社〔下鴨神社〕 山田 岳晴

八幡宮紹介 高松八幡宮 (山口県熊毛郡田布施町)

新刊紹介 皇學館大学創立百三周年・再興五十周年記念『訓讀註釋 儀式 踐祚大嘗祭儀』皇學館大学神道研究所編

◆歴研よこはま 横浜歴史研究会

〒245-0053横浜市戸塚区上矢部町1624-21  
加藤導男方 1984年創刊

◇68 2013.5 B5 50p

平成25年度を迎えて 加藤 導男

平成25年度定期総会開催／平成25年度全国歴史研究会新年会開催／創立30周年記念「落語会・講演会」開催／創立30周年記念寄付金・御祝儀一覧

会員研究

不比等の出生伝承をめぐって(4)

石川 勝義

倭人の起源と呉の太白伝承を追う 横山 忠弘

悲運の征夷大将軍木曾義仲の虚実 加藤 導男

藤原清衡の中尊寺造営の動機 高野 賢彦

鎌倉市「永福寺」跡見学会参加報告

大正地区歴史散歩の会での会長講演報告 竹村 清繁

全国歴史研究会主催「本部懇談会」での講演の報告

会員のひろば

歴史一口メモ(29) 華族の巻(8) 前部 謙藏

エッセイ ふるさと随想 加藤 愼一

エッセイ 奈良に魅せられて 藤盛 詔子

「歴研よこはま」俳壇 前部謙藏／竹村清繁／内山昇／藤盛詔子／高島治

「歴研よこはま」歌壇 竹村紘一／丹下重明

エッセイ 私と四国遍路(6) 齋藤 宗久

会員研究 推理で楽しむ古代史 第3回 『書紀』と『古事記』 蛭田 喬樹

歴史エッセイ 壱岐・平戸・生月島・九十九島・天草諸島—絶景五島めぐりと瀬戸内海クルージング四日間の旅に参加して 竹村 紘一

横浜の知られざる聖地を巡礼 堀江 洋之  
「頼朝拳兵830年祭」に思う 遠藤 容弘

中 部

◆高志路 新潟県民俗学会

〒950-2022新潟市西区小針6-29-1

鶴巻武則方 TEL025-231-6100 1935年創刊  
www.bsnet.co.jp/jiku/minzoku/

◇388 2013.6 A5 80p

《新発田市滝谷共同探訪特集》

滝谷地区の生業と民具(抄) 五十嵐 稔  
旧赤谷村滝谷を訪ねて 池田 亨

新発田市滝谷というところ 佐藤 和彦  
滝谷阿部家の出羽三山の掛軸など 鈴木 秋彦

滝谷の食・今むかし—滝谷・滝谷新田の食べものと暮らし(1) 丸山 久子

滝谷の人生儀礼 高橋 郁子

新発田市滝谷の暮らしと信仰 一文書を中心として 鶴巻 武則

滝谷地区の共同探訪に至る経緯及び文献 鈴木 秋彦

滝谷の民間医療(再掲) 佐久間惇一

コウロクブルマイ(再掲) 佐久間惇一

滝谷の禁忌資料(再掲) 佐久間惇一

故佐久間惇一氏による滝谷調査平成24年度共同探訪記録 I (新発田市滝谷地区)

会員の出版物／事務局だより／平成24年度決算報告

◆新潟史学 新潟史学会

〒950-2102新潟市西区五十嵐二の町8050  
新潟大学人文学部史学研究室内  
TEL025-262-6830 1968年創刊

◇69 2013.6 A5 70p 1000円

追悼 甘粕健先生を偲びつつ 昨今の発掘調査報告書収蔵問題を

考える 橋本 博文  
論文

守護在京解体の画期と幕府求心力についての一考察 上田 浩介

死に向かうヘクトルをめぐる人々—『イリアス』第VI書に見る強制(強請)行為 高橋 秀樹

動向 シンポジウム「新潟県中越地震から東日本大震災へ—被災歴史資料の保全・活用の新しい方法をさぐる—」参加記 片桐 昭彦

書評・新刊紹介 池上裕子著『日本中近世移行期論』 森田 真一

P・C・ブラウン著『共有地を耕す:近世日本における耕地の共同所有』 蓮田 隆志

新潟県人文社会・教育科学系附置環東アジア研究センター編『環東アジア地域における社会的結合と災害』『近世・近代越後佐渡災害史資料』 内田 宏美

白須浄真編『大谷光瑞と国際政治社会—チベット・探検隊・辛亥革命—』 岩本 篤志

記事 例会活動の記録 2012年9月6日 報告要旨「中世の河川管理と用益」大村拓生

◆良寛だより 全国良寛会会報

〒951-8112新潟市中央区南浜通2 北方文化博物館新潟分館内 TEL025-222-2262 1978年創刊

◇141 2013.7 A4 20p

良寛遺墨解説(99) 良寛作「無縁供養の詩」 加藤 愼一

新 良寛尊像つれづれ(3) 故布施一喜雄氏(長岡市与板町)の良寛

像 浦井 茂  
 折々の良寛(30)  
 子供と遊ぶ心の背景について 長谷川義明  
 第36回全国良寛会 柏崎大会 な  
 つかしい海辺の町に全国から友  
 集う 浦井茂/加藤僊一  
 良寛記念館展示紹介 夏休み企画  
 展 平成25年8月1日～9月30日  
 /良寛にちなんだ和菓子「ひふ  
 み」新発売!  
 平成24年度 会務報告/平成25年  
 度 会計予算書/平成24年度  
 会計決算報告書  
 第36回全国良寛会 柏崎大会開催  
 のお礼に代えて 白倉 南雀  
 全国良寛会柏崎大会 記念講演(要  
 旨)「はちすの露」と良寛 北原 保雄  
 全国良寛会 春の役員会報告 加藤 僊一  
 良寛 吉野河畔を歩く(2) 岸本 彰夫  
 『宇宙時代の良寛 エコ神学者ト  
 マス・ベリーと共に』新著、刊  
 行に寄せて 延原 時行  
 「良寛居士」布施一喜雄先生を偲ぶ  
 柳本 雄司  
 良寛 思いのほかの生きもののう  
 た 素描(ノミ・シラミ・オオ  
 ヨシキリ・フナ) 吉田 福恵  
 越後の自然・風土を生きた良寛一  
 ゆかりの地「七十」をDVDに 中川 幸次  
 トピックス/新刊紹介『會津八一  
 の良寛像—破格の書にみる美意  
 識—』喜嶋奈津代著/会報・会  
 誌のご紹介/新入会員のご紹介  
 /「良寛だより」141号目次/本  
 邦初公開入場無料創作落語「良  
 寛ものがたり」いのちの落語家  
 樋口強/良寛さんの名品カレン  
 ダーをどうぞ

◆加賀藩研究 加賀藩研究ネットワーク会誌  
 〒923-1241石川県能美市山田町口8  
 合同会社AMANE内 TEL0761-52-0874  
 2011年創刊 amane-project.jp/karen/  
 ◇3 2013.6 A4 49p  
 文久、元治期における加賀藩の意  
 思決定システムと政治運動 宮下 和幸  
 政治情報にみる飛脚の意義  
 —幕末期加賀藩を事例として 堀井 美里  
 研究ノート 加賀藩京都藩邸の構  
 成員と機能—その職務規程と業  
 務報告を通じて 千葉 拓真  
 書評 池田仁子著『金沢と加賀藩  
 町場の生活文化』 竹松 幸香  
 活動報告 尾張藩社会研究会との  
 交流会に参加して 林 亮太  
 彙 報

◆飯田市歴史研ニュース 飯田市歴史研究所  
 〒395-0002長野県飯田市上郷飯沼3145  
 TEL0265-53-4670 www.city.iida.lg.jp  
 ◇64 2013.6 A4 4p  
 平成24年度出前講座 地域の多様  
 な学びに応じて/第11回 飯田  
 市地域史研究集会 古代の交通  
 と地方社会  
 飯田市歴史研究所2013年度研究計  
 画/2013年度申請研究助成募集  
 /市民研究員(課程)募集/飯田  
 歴史研賞2013候補作品募集  
 新スタッフ紹介 安岡健一研究員  
 古文書入門講座/飯田歴史アカデ  
 ミア第68講座/定例研究会/地  
 域史講座/歴史ゼミナール/歴  
 史研究所の催事スケジュール/  
 歴史研日誌

◆伊那 伊那史学会  
 〒395-0081長野県飯田市宮ノ上4048  
 TEL0265-22-6017 年5500円  
 ◇1021 (61-6) 2013.6 A5 50p 500円  
 口絵 市村威人に贈られた多勢子  
 道愛の鉄瓶—伝記『松尾多勢子』  
 発刊の労いとして 今牧 久  
 飯田町の御札降り(1) 伊坪 達郎  
 未知なる病と村人たち—元文年間、  
 一庄屋のみた狂犬病 前澤 健  
 大正期における三宮殿下の天龍川  
 下航記録(1)—皇族で最初に天  
 龍川を下った東久邇宮殿下 鎌倉 貞男  
 資料紹介 新聞『伊那公報』 竹村 雄次  
 ◇1022 (61-7) 2013.7 A5 50p 500円  
 口絵 赤崩沢の大トチノキ 牧内 誠  
 〈伊那谷研究団体連絡協議会 第15回シンポ  
 ジウム 伊那谷の風土の多様性の中から—  
 自然と人間との関わりを考える〉  
 開会あいさつ 下平 隆司  
 伊那谷はプッポウソウ(絶滅危惧  
 種・県の天然記念物)の貴重な  
 繁殖地 田畑 孝宏  
 神と仏がつどう谷—飯田市上村地  
 区神祠碑等調査より 今井 啓  
 地名を地域文化として伝える重要  
 性—「遠山」と「天龍川」地名に  
 ついて考える 原 董  
 国天然記念物ヤマネは飯田にも生  
 息している 三石 邦廣  
 下伊那日録(2008年6月～7月) 寺田 一雄

◆伊那路 上伊那郷土研究会  
 〒396-0021長野県伊那市小沢7799-2  
 TEL0265-78-6719 年5000円  
 ◇677 (57-6) 2013.6 A5 40p 500円  
 《自然と人間との関わり特集》  
 戸台の化石保存会 25周年記念式

を終えて—「戸台の化石憲章」  
 を採択 北村 健治  
 日本登山界の歴史的变化と竹澤長  
 衛 松尾 修  
 野生生物捕獲の取り組み 伊東 忠康  
 伊那谷のサギの仲間  
 —民俗の窓を通して(18) 吉田 保晴  
 思い出の人・思い出の事(13)  
 思い出深い文化財調査委員会 桃澤 匡行  
 日本の子育て(3)  
 子は親の背中を見て育つ 大槻 武治  
 高山の植物(10)  
 信濃の名がつく大型の花 田中 茂  
 文化短信 伊那市創造館に「井月  
 展示室」開室 濱 慎一  
 考古あれこれ(21) 特殊土器の視  
 点 イボ付カップ型土器 田中 清文  
 師匠の背中(2)より(56)  
 山歩き・山遊びと箸 若林 徹男  
 ◇678 (57-7) 2013.7 A5 40p 500円  
 《井月特集号》  
 新潟糸魚川で見た井月の句  
 —木村秋雨収集 北村 皆雄  
 井月像除幕式に臨んで 宮澤 宏治  
 「井月忌句会」顛末記 相子 智恵  
 「井月忌句会」を参観して  
 —まあるくなる:座の文芸 若林 敏明  
 井月句碑その後 竹入弘元/宮澤宏治  
 井月と伊那について  
 —その歴史的社会的考察 久保田 誼  
 秋葉代参円図 宮原 達明  
 日本の子育て(4)  
 子どもは風の子 大槻 武治  
 高山の植物(11) キンロバイ 小  
 さなうちわのような葉と鮮やか  
 な黄色 田中 茂  
 文化短信 切竹紋次人形再び 氣賀澤厚典  
 古文書の窓(112)

高遠御普請小屋休日覚 三浦 孝美  
師匠の背中(2)より(57)  
田の草取り 若林 徹男  
会告 第20回「信毎賞」受賞正式  
に決定  
会員の編著書紹介『「俳」の精神』・  
『桃澤茂春資料(1)』

#### ◆伊那民俗

柳田国男記念伊那民俗学研究所  
〒395-0034長野県飯田市追手町2-655  
飯田市美術博物館内 TEL0265-22-8118  
年3000円 1990年創刊  
◇93 2013.6 B5 8p  
表紙 近所のお子守(左)らとともに  
に今宮山で／飯田町のサイダー  
屋 片桐みどり  
戦前の飯田町の暮らし 片桐みどり  
一馬場千里さんの子供時代 片桐みどり  
民俗学入門講座第2回～4回 福田  
アジオ所長講演要旨 第2回『旅  
の恥はかき捨て』(3月19日)／第  
3回『晴々とした、晴れがまし  
いと』(4月16日)／第4回『他  
人の茶碗は汚い?』(5月21日) 今井 啓  
探訪会「今に生きる民俗を訪ねて」  
第2回 『熊谷家伝記』の里一坂  
部  
忘れ去られた民具(2)「朝鮮背板」  
一高足付きショイコー 松上 清志  
研究所部会活動案内／事務局だ  
り／美博だより

#### ◆信濃 信濃史学会

〒390-0805長野県松本市清水1-9-607  
TEL0263-36-1785 年8400円  
www.shinano-shigakukai.jp  
◇761 (65-6) 2013.6 A5 82p 900円

《隣県特集号 隣県地方史学界の動向  
—平成24年(2012)》  
埼玉県地方史研究の動向  
石坂俊郎／新井浩文／実松幸男  
富山県地方史研究の動向  
古川知明／松山充宏  
／尾島志保／森俊  
山梨県地方史研究の動向  
野代恵子／西川広平／高橋修  
新潟県地方史研究の動向  
石原正敏／浅井勝利／前  
嶋敏／渡部浩二／田邊幹  
群馬県地方史研究の動向  
深澤敦仁／森田真一／丑木幸男  
岐阜県地方史研究の動向 村瀬 泰啓  
長野県地方史研究の動向  
櫻井秀雄／福島正樹  
山崎会理／田玉徳明  
書誌紹介 福澤徹三著『一九世紀  
の豪農・名望家と地域社会』 青木 隆幸  
◇762 (65-7) 2013.7 A5 82p 900円  
17世紀後半信州伊那郡の幕領支配  
—浪合村・平谷村の年貢訴願を  
通して 前澤 健  
昭和戦前期の諸物資配給からみた  
集落生活—昭和18年長野県南安  
曇郡高家村役場文書を手がかり  
に 黒崎八洲次良  
伊那県商社事件顛末記(下) 青木 隆幸  
研究ノート 真田昌幸の豊臣大名  
化の過程について 水野 伍貴  
史料紹介 加賀藩収集の弘化四年  
善光寺大地震関係情報について  
(上)—「信州路大地震記」の紹  
介 中村美美子／青木美智男

◆千 曲 ふるさとに学ぶ 東信史学会  
〒386-0024長野県上田市大手2-7-13

上小教育会館内 TEL0268-24-2182  
年3000円 1974年創刊  
◇153 2013.6 A5 62p  
菅平高原開発の夜明け 堀内 泰  
明治初年における薬用人参の栽培  
小林 収  
幕末・明治初期上田地方の蚕種業  
形成 佐々木清司  
信州上田商人と幕末維新期の生糸  
・蚕種取引 阿部 勇  
器械製糸の先駆者 高橋平四郎 野澤 敬  
畏友中島正利君を偲ぶ 関 明夫  
中島正利先生のご逝去を悼む 牧 忠男  
連載講座  
古文書解読講座 第144回 寺島 隆史  
平成24年度 東信史学会総会報告  
扉写真と解説 北相木村岩陰遺跡  
出浦 晃彦

#### ◆長野 長野郷土史研究会

〒380-0905長野市七瀬南部14-7  
TEL026-224-2673 年4000円 1964年創刊  
www.janis.or.jp/users/kyodoshi/  
◇289 2013.6 A5 48p 500円  
口絵 明治の面影を残す長野駅前  
二線路通りの運送会社の蔵  
小川村和佐尾の狼退治など 関 保男  
福井県の善光寺式阿弥陀三尊とそ  
の信仰(9) 北村 市朗  
夏目漱石と信州(4) 漱石と上田 中田 敬三  
小林計一郎の原点(13)  
渡辺敏先生伝(11) 小林計一郎  
歴史の町長野を紡ぐ会 案内活動  
の記録 善光寺七福神の会から  
感謝状  
跡部の踊り念仏を見て 小林 廣見  
金子清氏を悼む  
昼飯善光寺の御開帳に参拝 小林 玲子

クイズに挑戦  
表紙解説 小林 玲子

#### ◆長野県民俗の会通信

〒390-0851長野県松本市島内3427-45  
小原稔方 年5000円  
www.k2.dion.ne.jp/~folklore/  
◇236 2013.7 B5 8p  
木に上る—木に上るのには理由が  
ある(1) 倉石 忠彦  
「連ヶ免」「連ヶ屋敷」と桐原庄 木下 守  
第185回例会報告 小原 稔

#### ◆岐阜市歴史博物館だより

〒500-8003岐阜市大宮町2-18-1  
岐阜公園内 TEL058-265-0010 1985年創刊  
◇84 2013.7 A4 8p  
重要文化財 乾漆十一面観音立像  
企画展「古地図にみる江戸時代の  
美濃」 2013.7.12(金)～9.1(日)  
特別展「岐阜の至宝—伝承と創造  
—」 2013.10.11(金)～11.17(日)  
加藤栄三・東一記念美術館「絵画  
制作の舞台裏を探る 素描・下  
絵・本画展」 2013.9.18(水)～  
12.8(日)  
博物館ニュース 特別展「岐阜の  
茶の湯」協賛市民茶会が開催さ  
れました／分館 加藤栄三・東  
一記念美術館の展示、特集展示  
(2階 総合展示案内)、分室  
柳津歴史民俗資料室の展示  
研究ノート  
唱歌〈港〉の成立と受容 浅野 麻衣  
館蔵資料紹介 「提灯絵紙見本帖」  
の内「紫陽花」 菊池華池画

◆青峰 歴史と文化

静岡歴史・文化研究所  
〒420-0847静岡市葵区西千代田町24-5  
土書房 www.tsuchi-syobou.com

◇2 2013.6 B5 152p 934円  
立山の雪に学ぶ 付有峰仙人 佐藤 武彦  
お寺コンサート 堀場 泰道  
マンドリンに魅せられて 石川 敦子  
挑んでみたい

―「合唱」事はじめとその後 横山勝太郎  
薩摩藩の廃仏毀釈と霧島山麓住民  
の民権的憲法草案―地域主権国  
家の展望と日本文化の再検討 神田 嘉延  
山本弘文先生を偲ぶ 宇佐美ミサ子  
山本弘文先生を悼む 松田 壤司  
農家副業に関する覚書(2) 松田 壤司

◆月刊通信ふるさとの民俗を語る会

民俗文化研究所  
〒438-0086静岡県磐田市見付3532  
TEL0538-32-3546 2007年創刊  
www4.tokai.or.jp/child-c.j/

◇73 2013.6 A4 4p  
京のお田植え二種 吉川 祐子  
◇74 2013.7 A4 6p  
大奴が語る鳥田の大祭 吉川 祐子  
第107回鳥田大祭

◆古城 静岡古城研究会

〒426-0134静岡県藤枝市滝沢2690-3  
平井登方 TEL054-639-0648 1974年創刊

◇57 2013.7 B5 158p  
《創立40周年記念誌》  
創立40周年にあたって 水野 茂  
戦国三河・牧野一族と今川氏 小和田哲男  
庵原城の遺構から見る年代観 水野 茂  
縄張研究の可能性についての試論  
川村 晃弘

戦国期「境目の地」における土豪  
屋敷の様相(2)―南駿地域的事  
例を中心に 望月 保宏  
今川氏親の生涯 大塚 勲  
瀬戸方久と新田喜齊と庄内の城 高山 新司  
神奈川の城館跡と年代観について  
の寸描―後北条氏相模侵攻以前  
の様相を中心に 柳下 晃一  
『静岡県の城跡―中世城郭縄張り  
集成―』(中部・駿河国版)編纂  
に伴う調査ノートⅡ  
水見色の殿屋敷 水野 茂  
(静岡市葵区水見色)  
水見色砦(静岡市葵区水見色) 水野 茂  
マトウハネ砦遺構について  
(川根本町千頭) 平井 登  
岡田城(城屋敷)調査報告  
(鳥田市岡田) 水野 茂

創立40周年記念 地域と共に学ぶ  
戦国史「歴史シンポジウム・イ  
ン静岡」 「知られざる郷土の山  
城―駿河国の分布調査と成果―」  
の報告 川村 晃弘  
城館レポート( '11・'12年) 編集部  
静岡古城研究会機関誌「古城」目  
次一覧Ⅱ 各務 博俊

◆静岡県近代史研究会会報

〒422-8529静岡市駿河区大谷836  
静岡大学人文社会科学部 橋本誠一研究室  
年4000円

◇417 2013.6 B5 4p 200円  
6月例会レジュメ 戦後日本にお  
ける重度障害者の文芸運動―身  
体障害者同人誌『しのめ』を  
事例に 鈴木 雅子  
5月例会報告  
浜松市博物館を訪ねて 橋本 誠一

K F F 鎌倉文庫の開館まで 鎌倉 国年  
受贈誌の紹介

書籍紹介 長野栄一『私の海軍履  
歴書―水兵の太平洋戦争参戦記』  
竹内 康人

◇418 2013.7 B5 4p 200円  
7月例会レジュメⅠ 尖閣諸島問  
題―論点整理を中心に 橋本 誠一  
7月例会レジュメⅡ 竹島をめぐ  
って―「帝国意識」の視点から 小池 善之  
『静岡県と満州開拓団』を書き終  
わって 桜井 規順  
市原正恵遺稿集『近代静岡の文化  
と女性』(非売品)が刊行されま  
した 小池 善之

◆静岡県民俗学会会報

〒424-0053静岡市清水区渋川1-9-6-101  
web.thn.jp/s-folklore/

◇148 2013.7 A4 8p  
平成25年度総会・大会報告  
第1回例会(第1回富士山見学会)の  
ご案内 12月1日(日)  
シリーズ食(24) 印野の食生活 勝間田仁美  
静岡の民俗語彙・方言短信 クラ  
ラナク/ゴイセイ、ゴイセイ 外立ますみ  
News 「静岡の茶草場農法」が世  
界農業遺産に限定/「富士山―  
信仰の対象と芸術の源泉」が世  
界文化遺産に登録  
博物館情報/受贈図書・刊行物紹  
介

◆静岡歴史研究会 静岡県歴史研究会

〒422-8045静岡市駿河区西島363-55  
篠原旭方 TEL054-286-8659

◇137 2013.6 B5 12p  
4月28日(日) 平成25年度総会

5月19日(日) 第100回研究会  
篠原、松本、和田各氏発表  
篠原旭氏の「賤機山の歴史」の概  
要/松本検氏の「江戸時代の旅  
と離婚」の概要/和田嘉夫氏の  
「富士山表口の謎」の概要  
受贈図書資料の紹介(平成25年4月  
現在)

◆静岡平和資料センターだより

〒420-0858静岡市葵区伝馬町10-25  
中央ビル90 2階 TEL054-271-9004  
homepage2.nifty.com/shizuoka-heiwa/

◇47 2013.6 A4 2p  
教材セット貸し出します/団体見  
学にセンターをご利用ください  
/次回展示予定「戦争と動物た  
ち」/資料をご提供ください/  
これからの催し物/学習の応  
援、そして一緒に研究 夏休み  
の学習、研究のお手伝いをしま  
す―静岡の歴史・戦時中の生活  
・静岡の空襲・静岡の戦跡など  
/静岡平和資料センター案内図  
静岡平和資料センター 企画展示  
「戦時官製ポスター展」入場無  
料/“阿智村”を知っています  
か?/常設展示は静岡・清水の  
空襲展

◆あつた 熱田神宮宮庁

〒456-8585名古屋市中熱田区神宮1-1-1  
TEL052-671-4151 www.atsutajingu.or.jp

◇239 2013.7 A5 33p  
熱田社の和歌と文学(40)  
―『烈女百人一首』の場合 八木意知男  
特集 創祀千九百年大祭並同奉祝  
行事

◆安城民俗 安城民俗談話会

〒446-0026愛知県安城市安城町清水23-4  
川合正治方 TEL0566-76-6638  
1993年創刊

◇40 2013.6 B5 12p

阿部健さんを悼む 川合 正治  
忘れられない阿部健さん 渥美 精一  
夜泣き石・馬取り池・判官石 川合 正治  
あたらしい憲法のはなし 近藤由美子  
聞きがき 五右衛門風呂 榊原 啓修  
谷田町の産業建造物 加藤 研一  
誤算 斎藤 卓  
木曾川町の歴史(民俗)散歩 M K 生  
談話会活動記録(平成24年10月10  
日~25年3月13日)

◆学術研究センター通信

名古屋経済大学学術研究センター  
〒484-8504愛知県犬山市内久保61-1  
TEL0568-67-0511

◇20 2013.7 B5 8p

分の悪いつばやき 石井 文廣  
研究組織活動報告 経済・経営研  
究会/法学会/人文科学研究会  
/自然科学研究会/地域社会研  
究会/比較文化研究会/幼児教  
育研究会  
学術研究センター活動報告  
犬山オープンカレッジ2012

◆銃砲史研究 日本銃砲史学会

〒441-1305愛知県新城市武広字信玄原552  
新城市設楽歴史史料館内 湯浅大司気付  
TEL0536-22-0673 年10000円 1968年創刊

◇376 2013.6 A4 80p 1000円

《日本銃砲史学会創立50周年》

報告  
埼玉県行田市埼玉古墳群鉄砲山

古墳で発見された忍藩角場に  
ついて 岩田 明広  
オランダ渡りというボンベン弾  
の鑄型からみた砲弾の造り方  
中江秀夫/峯田元治/小西雅徳

配布資料

西洋兵学書の翻訳について 小西 雅徳  
岩倉使節団の見た欧米軍事事情  
特に銃砲関連一米回覧実記  
による 室賀 脩  
研究ノート Spencer Rifle &  
Carbine, with Cartridges 磯村 照明  
事務局より 日本銃砲史学会の歩  
み/平成25年度総会報告

◆文化誌 碧 碧の会

〒446-0013愛知県安城市東別所町戌新畑  
1-53 河村方 TEL0566-76-0204  
2001年復刊

◇31 2013.5 B5 44p 500円

民俗・食文化・エッセー  
ミョウガ(茗荷)の民俗学 粕渕 宏昭  
ある食べ物の思い出 八重田和久  
つばやき(1) 嶋野 卓  
障害を持って高齢期を生きる一  
多田富雄先生の遺されたもの  
小谷野錦子  
川縁雑記(1) 米川 五郎  
特集「河村さんへの応援」1  
河村先生お元気でしょうか? 久世 郁子  
前 略 原田 靖久  
感謝 小谷野錦子  
河村和男先生から学ぶこと 粕渕 宏昭

◆まつり通信 まつり同好会

〒496-8049愛知県愛西市塩田町砂山25  
TEL0567-37-0441 年5000円

◇566 (53-4) 2013.7 B5 8p 600円

7・8月の予定/新刊紹介 南日本  
の民俗芸能誌 北薩西部編 下  
野敏見著

千葉・篠籠田の獅子舞 石川 博司  
東海民俗研究発表大会発表要約  
旧柳田村のアエノコトーT氏の  
伝承事例 佐野 尚子  
越中加茂神社の稚児舞見学記 鷺野 正昭  
表紙写真のことは 江差姥大神  
宮渡御祭 北海道檜山郡江差町  
東海民俗研究発表大会報告  
8月のまつり/9月のまつり

◆史料 皇學館大学史料編纂所報

〒516-8555三重県伊勢市神田久志本町1704  
TEL0596-22-6462 年1000円 1978年創刊

◇238 2013.6 B5 24p 300円

研究開発推進センターの設置と史  
料編纂所 岡野 友彦  
岡平保『播磨風土記考』について  
近藤左知子  
神宮文庫所蔵拓本について  
一広開土王碑研究の一齣(4) 荊木 美行  
彙報 平成24年度皇學館大学史料  
編纂所事業報告  
いにしへの伊勢(16)一絵葉書・古  
写真に見る戦前の宇治山田 山田 修司

近 畿

◆湖国と文化 (勸滋賀県文化振興事業団

〒520-0044大津市京町4-3-28 滋賀県厚生  
会館 TEL077-522-8369 年2520円  
1977年創刊 www.shiga-bunshin.or.jp

◇144 (37-3) 2013.7 B5 92p 600円

《特集 近江の水郷めぐり》

特集1 観光船  
水郷めぐりの楽しさ 田中 宏樹  
日本で一番おそい乗物で自然を楽

しむ 近江八幡和船観光協同組  
合

手漕ぎの船で原風景の景色とヨシ  
原を楽しむ 水郷のさとまるや  
ま

環境に配慮してソーラー船導入

島真珠水郷観光船部

冬場もストーブをたいて定期運航

びわ湖観光株式会社

船から目線で町の魅力を再発見

八幡堀めぐり

特集2 カヌー

穏やかでツアーに最適 岡田 明彦

特集3 水鳥

営巣や生態を探る欲び 須川 恒

特集4 権座 「重要文化的景観」選

定で守る機運芽生える 大西 實

特集5 眺望 上り下りを重ねて展

望地に到着

特集6 体感 権座の「動」と水郷

めぐりの「静」

特集7 水郷めぐり 話題あれこれ

水門/地酒/竜神

インタビュー・湖と生きる(番外)

水郷めぐり手漕ぎ船の船頭さん

に聞く 橋本将一さんと守川邦

紘さん 植田 耕司

新連載 元気な商店街その魅力(1)

東近江市八日市(駅前通り・本

町・ときわ通り仲之町・大通り

商栄会・八日市大通り)「八日

市は妖怪地」で名乗り 妖怪ブ

ームにあやかっ市おこし 町田 雅子

談話室(13) 大谷コレクション

用紙の製紙法を研究 アワのわ

らやアシの神を使って高度な文

化が花開く 江南 和幸

湖国藝術紀行(13) 田村一二の世

界 子どもたちと汗を流して学  
園建設 吉永 太市  
いまだきの“元気なお寺”見聞(8)  
大津市木下町 和田神社 若いメ  
ンバーの雅楽会で千年の音を継  
承 越殿楽から現代曲まで幅広  
く取り組む 辻村琴美/辻村耕司  
インタビュー 嶽山修平宮司  
四季をめぐる健康食 夏編 食欲  
なくともバランスよく食べよう  
滋賀文化事情 彦根城を世界遺産  
に 華開く大名文化をアピール  
遺産登録に向けて第2段階に入  
る 谷口 徹  
近江人物伝(16) 義民彦治・源吾  
一揆の企てを制して二人で直訴  
膳所藩の圧政に苦しむ大石五カ  
村を救う 小学校唱歌や記念碑  
で遺徳をたたえる 木村 至宏  
カラグラフィア  
水郷舟めぐり 大久保勝利  
郷紀行 夏 上村 勝美  
四季をめぐる健康食・夏の夕食  
三上山風便り 八田 正文  
おわび紙と書と言葉(7) 増田 洲明  
近江の水をめぐる(3)  
暮らしの水・近い水 石川 亮  
わたしと湖国(2) 過疎地から一  
転、人口増の都市に赴任 弥生  
土器展から近江商人のルーツを  
取材 倉形 友理  
北から南から  
町中が熱く燃える「日野祭り」 門野 昇二  
神輿が鳥居をくぐるのも見どこ  
ろ 赤尾 和美  
地域の祭りを親子で務める 熊谷 もも  
西の湖の魅力がたっぷり  
よし笛ロードを歩く 山田 勝彦

食や伝統工芸を通し滋賀の良さ  
を再発見 野口 観道  
特別公開の里坊庭園を鑑賞 長井 泰彦  
ニュースの小箱  
おうみ(近江)おうみ(多見)歩く(10)  
蒲生野と太郎坊宮 加藤 賢治  
歴史文書は語る 県政史料室から  
(8) 明治の彦根城 払い下げ  
の危機にさらされた天守と櫓 生嶋 輝美  
現代の朝鮮通信使 21世紀の友情  
ウォークに一日同行 ソウルと  
東京をつなぐ朝鮮人街道を歩く  
朝鮮通信使の道は平和の道だと  
教えられる 植田 耕司  
シリーズ 一等三角点の山と私(5)  
奥琵琶湖と伊吹が一望 箱館山  
山本紀美子  
自然・歴史・暮らし  
魅力がつかない山 伊吹山 久保 豊和  
さよなら滋賀会館 滋賀会館、9  
月末に60年の歴史に幕引き 事  
業団と編集室は10月、県厚生会  
館内へ  
◆彦根城博物館だより  
〒522-0061滋賀県彦根市金亀町1-1  
TEL0749-22-6100 1988年創刊  
longlife.city.hikone.shiga.jp/museum/  
◇101 2013.6 A4 4p  
資料紹介 能面 狸々  
是閑吉満作 当館蔵 茨木 恵美  
展示案内 6月～9月 企画展  
6/7～7/9 展示室1・2 新収蔵  
記念 彦根藩筆頭家老・木俣清  
左衛門家資料/テーマ展 7/20  
～8/20 展示室1 拝領の武具  
一将軍家と朝廷からの贈り物/  
テーマ展 8/23～9/17 展示室

1 源氏物語と伊勢物語/企画  
展 9/20～10/22 展示室1 近  
江と能一霊場・名門・物語  
教室・講座 彦根城博物館出張講  
座「あなたの街の歴史探訪」、  
キッズサマースクール/能・狂  
言/臨時休館のお知らせ/スケ  
ジュール  
研究余録 金亀玉鶴 足軽辻番所  
はどのような場所だったか 渡辺 恒一  
◆民俗文化 滋賀民俗学会  
〒520-1121滋賀県高島市勝野1681-5  
TEL0740-36-1414 年4800円 1963年創刊  
sigaminzoku.fc2web.com  
◇597 2013.6 B5 12p 400円  
七と十一の文化(6)  
彦根と近江八幡 長谷川博美  
新訳「石山軍記」抄(6) 馬場杉右衛門  
“外国の枘”その他について 柏測 宏昭  
熨斗(のし)について 柏測 宏昭  
彦根城の時報鐘について(続報) 柏測 宏昭  
野洲川の変遷について 菅沼晃次郎  
新刊紹介 『野洲の郷土史』 編集  
・野洲区史編集委員会 発行・  
野洲自治会  
丹波美山の昔ばなし(2)  
一弘法伝説(木) 西浦 左門  
講師 旭堂南陵(二代目)の聞き  
書き一代記(26) 菅沼晃次郎  
◇598 2013.7 B5 12p 400円  
地球は一つなのになぜ人類はお互  
いに殺し合うの… 菅沼晃次郎  
「むじな坂のだまし」について  
一神奈川県相模原市 大喜多紀明  
七と十一の文化(7) 高度成長期  
の欧米七文化への迎合 長谷川博美

新訳「石山軍記」抄(7) 馬場杉右衛門  
馬の轡(くつわ)について  
一滋賀県彦根城 柏測 宏昭  
袋真綿の製造用具について  
一滋賀県米原市 柏測 宏昭  
工事現場の足場について 柏測 宏昭  
丹波美山の昔ばなし(3)  
一弘法伝説(水・蚊)他 西浦 左門  
旧白山東光禅寺跡地の現況(後)  
一横浜市金沢区 大喜多紀明  
講師 旭堂南陵(二代目)の聞き  
書き一代記(27) 菅沼 晃次郎  
◆宇治市歴史資料館年報  
〒611-0023京都府宇治市折居台1-1  
TEL0774-39-9260  
◇2011 2013.3 B5 64p  
研究紀要 史料紹介『槇島村郷土  
誌』(上) 小嶋正亮/岡本京子  
◆黄檗文華 黄檗山万福寺文華殿  
〒611-0011京都府宇治市五ヶ庄三番割34  
TEL0774-33-1199 1973年創刊  
◇132 2013.7 B5 268p  
口絵 黄檗の文華  
『黄檗文華』第百三十二号題字 岡田 亘令  
『黄檗文華』第百三十二号刊行序文  
浅井 聖道  
福清石竹山の仏教について 福清  
石竹山の仏教一黄檗ゆかりの地  
(4) 福清石竹山 林 観潮  
隠元禅師語録について(5) 大槻 幹郎  
みちのくの黄檗廃絶寺院 石渡 吉彦  
大堅元用の新田開発と圓成院につ  
いて 西村 勉  
大和郡山藩主柳澤家の墓碑考察 秋元 茂陽  
国内外の著作にみる河口慧海(5) 高山 龍三  
補遺「明鏡新誌」に見る[黄檗騒

動]と河口慧海の言論(2) 岩田 昶  
鄭廷玉撰「布袋和尚忍字記雜劇」  
試訳(中) 北川 修一  
牛頭山弘福寺に伝わる兆溪元明  
(明兆溪)の仏画二題—「白衣観  
音文殊普賢三尊図」と「五百羅  
漢図」 藤元 裕二  
村瀬玄妙猊下『転んだら起きれば  
いい』を拝読して 野川 博之  
黄檗宗における緒子後拜の紋印 田中 智誠  
事務局だより/平成23年度事業報  
告

◆芸能史研究 芸能史研究会

〒602-0855京都市上京区河原町荒神口下ル  
上生洲町221 キトウビル303  
TEL075-251-2371 年6000円 1963年創刊  
www.5b.biglobe.ne.jp/~geinoshi/

◇201 2013.4 B5 64p 1800円

研究 戦国期における鷹の伝授—  
西園寺家・持明院家の鷹書から  
大坪 舞

磔・つぶて

人形浄瑠璃文楽の通し上演 内山美樹子  
古典芸能と文化行政—人形浄瑠  
璃文楽をめぐる 斉藤 利彦

資料 藝能史研究会の仕事2

紹介 俵木悟著「文化財/文化遺  
産をめぐる重層的な関係と、民  
俗学の可能性」、五島邦治著「稲  
荷旅所の巫女「惣の一」、佐藤  
和道著「『能囃子番組之留』に  
見る豊橋の能」

例会発表要旨

大連、撫順にあった幻の能舞台  
—1945年まで現地における能  
楽活動の場所を中心に 王 冬蘭  
浄瑠璃かしらの変遷—近松時代

のかしらと画証を中心として  
加納 克己

◆古代史の海 「古代史の海」の会

〒615-8194京都市西京区川島粟田町22  
中村修方 FAX075-392-3743  
年4000円 1995年創刊  
www.7.ocn.ne.jp/~kodaishi/

◇72 2013.6 A5 92p 1500円

巻頭言 舒明紀と日本書紀区分論  
河越 尚司

断夫山は尾張氏か(2)—河内へ 尾関 章  
安本美典『邪馬台国への道』を読  
む 中村 修

会員ひろば(小休止)

香気ある論考に接して 白名 一雄  
孝謙はなぜ阿倍内親王か 渡部 正路  
アンデス通信(25) 市木 尚利

岩波文庫新刊・東野治之校注『上  
宮聖徳法王帝説』雑感 半沢 英一

日本法制史学に対する誤解を避け  
るために—水林彪『天皇制史論

本質・起源・展開』に触れて 蘆田 東一  
井上満郎氏講演「長岡京の謎を解

く」を拝聴して 河野 宏文  
悲濤の人・福本正夫(1) 中村 修

◆史迹と美術 史迹美術同致会

〒606-8048京都市上京区下立売通小川東入  
西大路町146 中西ビル内  
TEL075-462-4292 年8000円 1930年創刊

◇835 (83-5) 2013.6 A5 32p 915円

口絵 国宝朝光寺の秘仏と福崎町  
の文化財

佐川田喜六昌俊について(1)—『佐  
河田氏壺齋得銘并挽詞引』をめ

ぐる(上) 村上 泰昭  
宮本武蔵と都市計画 寺本 健三

日本の塔百選(15)  
高野山金剛峯寺大塔 他 中西 亨

第982回例会 国宝朝光寺の秘仏  
と福崎町の文化財 八田 洋子

◇836 (83-6) 2013.7 A5 34 915円

口絵 江戸六地藏の鋳物師、太田  
駿河守正儀(2)

江戸六地藏の鋳物師、太田駿河守  
藤原正儀(2)—未詳の銅仏 石塚 雄三

京都条里と平安京(1)  
—東西南北基準線 三宅 宏

日本の塔百選(16)  
高野山金剛三昧院多宝塔 中西 亨

第983回例会 紀州道成寺と付近  
の文化財を訪ねる 松本 啓吾

2013年度上半期「石造美術勉強会」  
報告 品角阿止美

◆史談福智山 福知山史談会

〒620-0884京都府福知山市堀495-3  
塩見昭吾方 TEL0773-22-7546

◇734 2013.5 B5 6p

明智光秀と病氣、またその周辺に  
ついて 嵐 光激

コラム 国の天然記念物指定の桜  
について 塩見 昭吾

出版紹介 「福知山地方の狛犬」

塩見昭吾著

◇735 2013.6 B5 6p

才の神について 嵐 光激

コラム 聖徳太子は実在したか 塩見 昭吾

◇736 2013.7 B5 8p

北丹鉄道にみる労働運動史 住本 剛史  
山城散策の報告 梅垣 秀基

◆都藝泥布 京都地名研究会通信

〒611-0031京都府宇治市広野町宮谷110-15  
糸井通浩方 TEL0774-44-7636

年3000円 2002年創刊  
www.geocities.jp/Kyotochimei/

◇44 2013.7 A4 8p

2012年度総会・講演会開催/第12  
回総会 報告

講演1 深草と不幸者(ふかうさ)  
(遠藤邦基)/講演2 イザベラ

・バードが記した日本の地名—  
旅行記の翻訳に求められるべき

ことに関わって(金坂清則)  
寺の名の付いた町名(5)

要法寺町 清水 弘

第36回地名フォーラム案内 発表

1 京都祇園祭・大津祭・長浜  
祭のタペストリーから浮かび上

がる古代キリシヤ地名(山壽泰  
正)、発表2 宇治とウジノワキ

ノイラツコ(石田天祐)、発表3  
京都盆地の災害地名(綱本逸雄)

/予告

会長日記抄録(平成24年10月~25  
年5月) 吉田 金彦

新刊自己紹介・感謝の記

吉田金彦著『古辞書と国語』

◆ノートル・クリティーク 歴史と批評

ノートル・クリティーク編集委員会

〒662-8505西宮市岡田山4-1

神戸女学院大学文学部 河西秀哉研究室

2008年創刊 notre-critique.com

◇6 2013.5 A5 74p 1000円

天皇制と民主主義—敗戦直後の知  
識人における天皇制擁護の実相

河西 秀哉

インタビュー 戦後沖縄における  
一教員の軌跡—新垣仁英氏に聞

く 櫻澤 誠  
書評

戦前日本における「スポーツ」  
とは？—高嶋航著『帝国日本のスポーツ』 萩原 稔  
ライフヒストリーマジックの洗  
札—山本栄子著『歩—識字を  
求め、部落差別と闘いつづけ  
る』を読んで 梁 説  
史料紹介

『堺聯隊区管内兵事研究会報』 久保 庭萌  
新刊紹介 藤村一郎著『吉野作造  
の国際政治論—もうひとつの大  
陸政策』 岡本 真奈

#### ◆洛北史学 洛北史学会

〒606-8522京都市左京区下鴨半木町1-5  
京都府立大学文学部歴史学科内  
TEL075-703-5259 1999年創刊

◇15 2013.6 B5 93p

中世後期の北ドイツ・ハンザにお  
ける学問と外交—学識参事会員  
および都市役職者の活動と大学  
の機能 中田恵理子

戦時期の農村隣保事業に関する一  
考察 佐々木拓哉

研究ノート 中世後期大和の律家  
と在地領主—己心寺と大安寺向  
氏を中心に 葛本 隆将

書評 岡本隆司著『ラザフォード  
・オルコック—東アジアと大英  
帝国—』 古結 諒子  
新刊紹介

永田英正著『漢の武帝』 目黒 杏子  
村井良介著『戦国大名権力構造  
の研究』 川口 成人

金田章裕・上杉和央著『日本地  
図史』 丸山 貴久

大会例会報告要旨

第14回洛北史学会大会

大会テーマ 歴史叙述と地域  
報告「アカデミズム歴史学と  
地域—『京都市史』を素材に  
—」 入山 洋子

報告「中近世ハンガリー史を  
めぐる地域史論」 鈴木 広和  
コメント 古畑徹/上杉和央

討 論

第14回洛北史学会定例会 中  
田恵理子氏「中世末期のドイ  
ツ・ハンザにおける法と外交」  
/佐々木拓哉氏「戦時期の農  
村隣保事業に関する一考察」  
/藤本仁文氏「近世中期京都  
の惣町運動」

◆泉佐野の歴史と今を知る会会報

〒596-0845大阪府岸和田市阿間河滝1425  
井田寿邦方 TEL0724-28-0204 年1200円  
www.eonet.ne.jp/~sanonokai/

◇306 2013.6 B5 14p

信長政権の佐野城の新史料 廣田 浩治  
子どもの頃の触れ声と職人たち(3)

熊野古道の旅(第19回) 大辺路(2) 中野 恒一  
北山 理

和泉の中世城郭(19) 井田 寿邦  
報告 土丸城探査見学会 事務局

◇307 2013.7 B5 12p  
「兼葭堂日記」にみる食野・唐金  
家および泉州佐野について(1)  
よねかずゆうたろう

子どもの頃の触れ声と職人たち(4) 中野 恒一

和泉の中世城郭(20) 井田 寿邦  
12年度を振り返る 事務局

#### ◆大阪歴史懇談会会報

〒536-0008大阪府城東区関目2-3-2 アンテ  
ィークショップ—兵内 TEL06-6931-1081  
年5000円 1984年創刊

blog.goo.ne.jp/rekisitannbou/  
◇346 (30-6) 2013.6 B5 12p  
巻頭言 古文書苦楽部より(5)

太陰太陽暦 寺井 正文  
第322回例会案内/見る・聞く・  
学ぶ/会員の動き/会からのお  
知らせ

5月例会報告(第321回)「田中香  
涯について」—大阪で生まれ伊  
丹で活躍した移植の文化人—  
益尾宏之氏/古文書講座(第138  
回)「貞享元年 鮎川村免定」

石川道子先生 (磯崎)  
元副会長松本正彦さんの死去の報  
に 田村 紘一

松本正彦さん追悼 「歴史懇談」  
第8号より転載(創立10周年記念  
投稿文)「はじめに人ありき」 松本 正彦

◇347 (30-7) 2013.7 B5 12p  
巻頭言 古文書苦楽部より(6)

太陰太陽暦と閏月 寺井 正文  
第323回例会案内/見る・聞く・  
学ぶ/会員の動き/会からのお  
知らせ/会員の活躍

6月例会報告(第322回)「古代、  
海を渡った日本の女性」—『日本  
書紀』に見える従軍女性の悲話—  
片倉穰氏/会員講座(第11  
回)「石見神楽(ピアノ鑑賞)」

白須一信氏 白須 一信  
春の見学会 平成25年5月26日(日)  
壬生寺 新撰組屯所跡を訪ねて

久保 敏博  
平成25年6月2日 大阪歴史懇談

会・日本古城友の会合同見学会  
史跡御土居堀、船岡山城を探訪  
する 久保 敏博

御土居堀について 案内講師:中  
村武生先生の史料より

◆河童通心 和田寛  
〒591-8021堺市北区新金岡町5-4-327  
TEL072-251-2586 年2400円

◇350 2013.6 A5 14p 200円  
「ゆるキャラ」と「河童たち」 和田 寛  
◇351 2013.7 A5 22p 200円

「河童の国」を訪問した話 和田 寛

◆近畿文化 近畿文化会  
〒543-0001大阪市天王寺区上本町6-5-13  
上本町YUFURA 7階  
TEL06-6775-3686 年2200円

◇763 2013.6 A4 10p 300円  
奈良盆地東縁地域の縄文遺跡  
—天理の縄文遺跡を訪ねて 松田 真一

石上神宮の神剣渡御祭 武藤 康弘  
◇764 2013.7 A4 8p 300円  
大和の虚空蔵菩薩 神田 雅章

『妹背山婦女庭訓』の伝説の地を  
巡る 池田 淳

◆左海民俗 堺民俗会  
〒593-8307堺市西区平岡町268-20  
下谷佐吉方 TEL072-274-1479 年3000円

◇142 2013.6 B5 8p  
《特集 こどもの日》  
節供(節句) 川村 淳二

戦時中の5月5日の記憶—菖蒲湯 岸 繁司  
こどもの日 堀家 重子

柏餅の葉を頂いて来たこと 山崎 琢磨  
こどもの日—潮干狩りの思い出 梅本富士子  
鯉のぼりの思い出と童謡「鯉のぼ

り、背くらべ」 下谷 佐吉  
例会報告  
2月例会報告(2月24日) 妙国寺  
・本願寺堺別院辺りを歩く 光田 三生  
4月例会報告(4月22日) 新世界  
から四天王寺の舞楽を見る 山崎 琢磨  
終わりに一こま  
鳥とゴルフボールとの関わり 下谷 佐吉

◆除痘館記念資料室だより

(財) 洪庵記念会除痘館記念資料室  
〒541-0042大阪市中央区今橋3-2-17  
緒方ビル TEL06-6231-3257 2010年創刊  
◇5 2013.6 A4 6p  
《緒方洪庵没後150周年記念特集》  
緒方洪庵没後150周年に寄せて 梅溪 昇  
欧米で出版されたジェンナー伝記 加藤 四郎

緒方洪庵と丸尾玄俊 浅井 允品  
一津山伝苗の一齣  
姫路種痘館の太田泰淳・橋三折・井上元長について 古西 義磨  
除痘館記念資料室と愛珠幼稚園 川上 潤  
緒方洪庵画像(表紙・解説) (A)  
種痘の史跡を訪ねて(2) 京都の種痘(1) 日野鼎哉の墓碑とさまよう種痘碑 米田 該典  
新刊紹介 緒方洪庵記念財団除痘館記念資料室編 緒方洪庵没後150周年記念『大阪の除痘館』(改訂・増補第2版) 平成25年(2013) (A)  
江戸における緒方洪庵とその墓所 緒方 高志

◆城だより 日本古城友の会

〒577-0044大阪市西成区玉出中2-11-28  
平川大輔方 TEL06-6652-4511

web1.kcn.ip/kojyo\_tomonokai/  
◇534 2013.6 B5 22p  
知多 大野城、大草城などを探訪します(7月・第597回例会のご案内)  
8月・第598回例会の予告/事務局から/セミナー等のご案内/受贈図書・資料/城郭ニュース  
5月・第595回例会の報告 伊勢 采女城、田中城、千種城ほか3城 平成25年5月12日(日) 藪西 旭  
采女城鳥瞰図 川端 義憲  
会員通信 大和国の中世城館(6) 大和における「伊賀型」城館の系譜 星野 直哉

今後の見学会(例会)  
新聞記事紹介  
◇535 2013.7 B5 20p  
大坂冬の陣関係遺跡の探訪と講演会(8月・第598回例会のご案内)  
9月・第599回例会の予告/セミナー等のご案内/受贈図書・資料/城郭ニュース  
6月・第596回例会の報告 御土居堀(北部)と船岡山城 平成25年6月2日(日) 木下 修二  
会員通信 大和国の中世城館(7) 城郭遺構の破壊および政変による変遷 星野 直哉  
今年の見学会(例会)  
新聞記事紹介

◆つどい 豊中歴史同好会

〒560-0884大阪府豊中市岡町北2-8-11  
山口久幸方 TEL06-6857-4959  
homepage2.nifty.com/toyonakarekishi/

◇305 2013.6 B5 10p  
九州島における四・五世紀の様

相(2)一肥前(2) 宇野 慎敏  
読書室『大王のひつぎ 海をゆく一謎に挑んだ古代船一』海鳥社 2100円  
第25回定期総会  
平群谷を巡る 古高 邦子  
◇306 2013.7 B5 26p  
東大寺の盧舎那仏と河内国大県郡の智識寺(上) 塚口 義信  
大和国葛城北部の史跡を訪ねる(前) 今中 典男  
伝聞『能勢郷風土記』 山端 研三  
◇別冊 2013.5 B5 41p  
《「つどい」300号記念 総目録(1~300号)》  
ご挨拶 『つどい』300号記念目録  
発行にあたって 山口 久幸  
総目録 1号~100号/101号~200号/201号~300号

◆民俗文化 近畿大学民俗学研究所

〒577-8502大阪府東大阪市小若江3-4-1  
TEL06-6721-2332 1989年創刊  
◇25 2013.7 A5 365p  
表紙・口絵写真 東北地方の民俗 大脇潔/胡桃沢勘司  
藤井弘章/渡辺良正  
《東北地方の民俗》  
みちのく蕨紀行一宮城・福島県の被災地を歩いて 大脇 潔  
『遠野物語』の中の近世  
一交通・交易伝承を中心に 胡桃沢勘司  
海と山をつなぐ民俗一被災地・三陸海岸での出来事を緒にして 戸井田克己  
東北地方太平洋沿岸のウミガメの民俗一東日本大震災後の追跡調査を踏まえて 藤井 弘章  
東日本大震災後の福島県相双地方の社会と民俗一津波と原発事故

による地域コミュニティと民俗の危機 二本松文雄  
東日本大震災から生活回復への希求 福島県浪江町請戸地区の場合 今村 瑠美  
津波の記憶 藤井 弘章  
書評と紹介  
野本寛一著『自然と共に生きる作法・水窪からの発信』 戸井田克己  
平山昇著『鉄道が変えた社寺参詣一初詣は鉄道とともに生まれ育った』 井田 泰人  
付録 民俗学研究所第25回公開講演会 海難と供養(要旨) 川島 秀一

◆こうべ空襲だより

神戸空襲を記録する会 中田政子方  
◇12 2013.6 A4 6p  
思いがかなう日  
一8月15日にむかって 中田 政子  
K S Cグループ学習から「平和のモニュメント」建設へ 三浦 邦光  
千葉からの来訪者 玉井 洋子  
2012年3月~2013年2月活動報告

◆史料ネット NEWS LETTER

歴史資料ネットワーク  
〒657-8501神戸市灘区六甲台町1-1  
神戸大学文学部地域連携センター気付  
TEL078-803-5565 年1000円  
www.lit.kobe-u.ac.jp/~macchan/  
◇73 2013.6 A4 12p  
巻頭写真  
淡路島地震巡回調査のようす  
巻頭言 資料の保存に向けて、さらなるお願い 川内 淳史  
被災資料救出保全活動の深化と課題 板垣 貴志

特集 水に濡れた紙とフィルムの  
修復ワークショップ  
「水に濡れた紙とフィルムの修  
復ワークショップ」の記録 吉原 大志  
映画保存協会の取り組みと災害  
対策部について 中川 望  
被災した映像資料の簡易洗浄ガ  
イドを作成した経緯と意図 鈴木 伸和  
水に濡れた紙とフィルムの修復  
ワークショップ体験記  
蔵本洋子／愛須由季子

◆**摂播歴史研究** 摂播歴史研究会

〒676-0004兵庫県高砂市荒井町千鳥2-23-12  
TEL079-442-0658 1986年創刊  
◇61 2013.7 B5 8p  
纏向遺跡D建物は同床共殿の大殿  
か 廣瀬 明正

◆**西宮市立郷土資料館** ニュース

〒662-0944兵庫県西宮市川添町15-26  
TEL0798-33-1298 1987年創刊  
www.nishi.or.jp/homepage/kyodo/  
◇39 2013.7 B5 8p  
第29回特別展示「西宮の前方後円  
墳―津門稲荷山古墳をさぐる―」  
森下 真企  
岡本宇兵衛の日記を読む 衛藤 彩子

◆**西宮文化協会** 会報

〒662-0974兵庫県西宮市社家町1-17  
西宮神社内 TEL0798-33-0321  
◇543 2013.6 B5 8p  
6月行事 文化講演会「西宮の絵  
師 勝部如春齋」  
西宮文化協会三月行事見学会 福川 於良  
伊勢松阪研修見学会 松井 みね  
松阪旅行で出会った本居宣長 亀田 順一

平成25年度西宮文化協会  
会員名簿  
軸と語らう「親心」 堀内 陽光  
◇544 2013.7 B5 8p  
7月行事 映画鑑賞会  
イグアス・ナスカ・クスコ・マチ  
ュピチュ紀行(1) 二宮 健  
西宮史談会から西宮文化協会への  
歩み(1) 山下 忠男  
小墓円満地蔵尊 今村 欣史  
平成25年(7月～9月)美術館・博物  
館等展示の御紹介

◆**歴史と神戸** 神戸史学会

〒657-0845神戸市灘区岩屋中町3-1-4  
田中印刷出版内 TEL078-871-0555  
年3000円 1962年創刊  
◇298 (52-3) 2013.6 A5 49p 600円  
神戸史学会賞・落合重信記念賞の  
公募と暑中見舞い広告のお願い  
《特集 50周年記念号5  
近世播磨の飢饉と村文化》  
史人の道草つづり書き  
明石与次兵衛のこと 宮崎修二郎  
天保飢饉と播磨国曾根村 歌井 昭夫  
嘉永期における凶荒と上月組の村  
々―元三日月藩上月組大庄屋・  
大谷家文書をから見えること 中岡 宏美  
木崎得玄『茶話それぞれ草』につ  
いて―加西ゆかりの得玄の事跡  
と著書紹介 三枝 正平  
動乱期の青少年教育史話 ああ筒  
台の辺に―戦中戦後を生きた中  
高生の記録(11) 森田 修一  
福島県警戒区域の再興を担う博物  
館の復興・再生に向けて  
若林泰氏収集資料目録刊行へ  
7月6日に被災史料と震災資料保全

のシンポジウム  
新聞地域版を読む／受贈図書  
◆**大美和** 大神神社  
〒633-8538奈良県桜井市三輪  
TEL0744-42-6633 www.oomiwa.or.jp  
◇125 2013.7 B5 76p  
暑中ご挨拶 鈴木 寛治  
大物主神の出現―御諸山の神大物  
主神はなぜ海から出現するのか  
寺川眞知夫  
近世紀行文にみる三輪神社 大矢 良哲  
第9回三輪山セミナーイン東京講  
演録 壺薬神としての三輪の神  
―「大同類聚方」における三輪  
と出雲のくすり 根本 幸夫  
三輪山祭祀の考古学的解釈 穂積 裕昌  
写真 能「枕慈童」／檜原／献茶  
祭／おんばら祭／後宴能／春の  
大神祭／迎春・正月風景／鎮花  
祭特殊神饌  
三輪山セミナー講演録 伊勢神宮  
と出雲大社―大和王権と大物主  
大神の祭祀をめぐる 新谷 尚紀  
第42回「神道国際友好会宗教事情  
視察研修」ブータン王国を訪問  
して 神杉 満  
◆**熊野** 紀南文化財研究会  
〒646-0024和歌山県田辺市学園6-3  
濱岸宏一方 TEL0739-25-0657  
年3000円 1969年創刊  
◇144 2013.6 A5 65p  
大正中期の中辺路通行  
―近露吉田屋に宿った人々 杉中浩一郎  
古座川筋のイタダキ 小坂橋 淳  
断章 南方熊楠(4) 吉川 壽洋  
近世田辺領の今高制・上ヶ知制、

上ヶ米制序説(1) 芝 英一  
郷土関係新刊紹介 紀伊半島の民  
俗誌／熊野の神々の風景／關う  
南方熊楠／熊野 八咫鳥／平成  
23年度 紀伊半島大水害記録誌  
／和歌山の部落誌 史料編前近  
代2／古座川町史 通史編／紀  
伊半島大水害 平成23年9月、  
町を襲った台風の記録／奥熊  
野・北山村の民俗誌 一〇〇の  
話で語る村の今昔  
文化財ニュース／会合メモ

中国・四国

◆**大社の史話** 大社史話会

〒699-0751出雲市大社町杵築西2695-1  
稲根克也方 TEL0853-53-4966 年2500円  
1974年創刊 www.taisha-shiwa-kai.jp  
◇175 2013.6 B5 68p  
出雲大社の門前町にふさわしい神  
門通りの甍りをめざして  
神門通り甍りの会  
「出雲阿国像」―竣工・除幕式  
出雲阿国像建立委員会  
大社の音楽人 全国に羽搏く(2)  
合唱指揮・指導の石橋久和 渡部 智  
出雲弁よもやま話  
―風呂の入あやこ(貫い風呂) 村上 清子  
消えゆくもの(40)―艇(仕付け) 春木 芳子  
荒木四か村・茅原村・修理免村の  
猪目浦への入会と山論 斎藤 一  
―登山者の探した坪背山山境石碑  
(2) 田中 貞利  
「稲羽之素菟」ゆかりの神社はな  
ぜそこに? 岩谷 肇  
千家元麿の死を悼む 馬庭 將光  
古事記編纂から1300年 書籍紹介  
藤澤秀晴氏が『出雲木綿の歴史』

を出版！ 編集部  
日置風水の紀行文『隠岐のすさび』  
を読む(1) 山崎 隆司  
日本海運史料(6) 出雲国鷺浦船  
問屋讃岐屋旧蔵 船御改控帳 藤澤 秀晴  
企画展「石見神楽一舞を伝える、  
舞と生きる」のご案内  
古代出雲歴史博物館  
手銭記念館の四季 出雲焼と漆壺  
斎一不昧公ゆかりの工芸 佐々木杏里  
特別展「もう一つの出雲神話—中  
世の鱒淵寺と出雲大社—」  
出雲弥生の森博物館  
平成25年1月～3月出雲市大社町年  
表 編集部  
読者コーナー 編集部

◆宇喜多家史談会会報

〒700-0826岡山市北区磨屋町6-28  
光珍寺内 TEL086-222-2028  
年2000円 2002年創刊  
◇47 2013.7 A4 10p  
拾遺宇喜多氏伝(1) 矢吹 壽年  
宇喜多直家・秀家親子の業績・「岡  
山城下町」へ山陽道の迂回と町  
人の誘致 谷淵 陽一  
物語直家記伝 乙子の城 第18回  
伴侶(3) 山重十五郎  
会員サロン 岡山城天守の安土城  
天守傲傲観をめぐって 出宮 徳尚  
第4回うきだ振興まつり 津下 誠治

◆岡山藩研究 岡山藩研究会

〒169-0051東京都新宿区西早稲田  
早稲田大学文学部 紙屋研究室内  
blogs.yahoo.co.jp/okayamahanwasedq/  
◇70 2013.6 B5 12p  
〈第35回全体会の記録〉 2013.3.16

報告要旨 仙石騒動における御預  
人の処遇と幕藩関係—岡山藩を  
素材として 山本 英貴  
参加記  
第35回全体会・山本英貴氏報告  
を聞いて 福留 真紀  
山本英貴氏報告「仙石騒動にお  
ける御預人の処遇と幕藩関係  
—岡山藩を素材として—」を  
聞いて 久保 貴子  
討論要旨  
事務局から  
「第三論文集」について

◆岡山民俗学会会報

〒703-8421岡山市中区高島新屋敷382-14  
難波俊成方 年4000円  
◇210 2013.5 B5 20p  
人事 理事長退任のことば 次田 圭介  
人事 理事長就任のご挨拶 難波 俊成  
学会記事 岡山民俗館開館50周年  
記念シンポジウム開催  
学会記事 11月例会報告  
11月例会発表要旨  
関係者のみが知る文字改竄と伝  
承—地名に付いた創作文字考  
福原 教雄  
近世岡山の薬種商について 河田 章  
学会記事 2月例会報告  
2月例会発表要旨  
岡山県高梁市落合町の玄賓僧都  
伝説 原田 信之  
田村発表「文化財保護と民俗学」  
について 吉原 睦  
学会記事 平成24年度・第42回  
岡山民俗学会賞選考委員会 開  
催／平成25年度役員会(第1回)  
開催

学会記事 平成25年度総会・研究  
発表大会報告 鶴理恵子／吉原睦  
学会記事 平成25年度記念講演要  
旨について  
学会記事 平成25年度研究発表大  
会発表要旨  
藤戸古戦場に建つ佐々木盛綱像  
の興味深さ—大鎧の有職故実  
尾崎 聡  
伝承にみる災害 立石 憲利  
ある花筵業者の盛衰について  
—磯崎製筵所の場合 吉原 睦  
大正期児島湾干拓地における機  
械化農業への画期 安倉 清博  
書誌等紹介  
鳥取県教育委員会事務局文化財  
課編『鳥取県文化財調査報告  
書第20集 県選択記録作成等  
を講ずべき無形の民俗文化財  
「弓浜半島のトンド」調査報  
告書』 鶴 理恵子  
「林源一郎商店記念室づくり  
にたずさわって」(『倉敷の歴史』  
第23号所収) 吉原 睦  
新刊のご案内『干拓地・政田の民  
俗』  
本会刊行図書等の特別頒布につい  
て(再度) 安倉 清博  
受贈図書・雑誌

◆お知らせ 岡山県郷土文化財団

〒700-0813岡山市北区石関町2-1  
TEL086-233-2505  
◇410 2013.4 A4 2p  
現地研修会のご案内 美作国建国  
1300年記念 津山城下町を歩く  
コース 津山郷土博物館～衆楽  
園～城東町並み保存地区(津山

市)  
◇411 2013.4 A4 2p  
第11回 岡山県「内田百閒文学賞」  
受賞作品集の頒布について  
◇412 2013.4 A4 2p  
岡山県自然・文化財シリーズの「お  
祭り」各種のDVD化と頒布の  
ご案内  
◆きび野 岡山県郷土文化財団  
〒700-0813岡山市北区石関町2-1  
TEL086-233-2505  
◇130 2013.6 A5 14p  
表紙説明 原田直次郎『風景』 廣瀬 就久  
随 想  
岡山と種差海岸(八戸市) 最初  
の国立公園と最新の国立公園  
柳沢 卓美  
瀬戸内海の源流を訪ねて 丹羽 英喜  
岡山の人物 河原善右衛門 山本 修蔵  
岡山の自然 道祖溪 高田 知樹  
岡山の文化財 倉敷市歴史民俗資  
料館(旧倉敷幼稚園舎) 藤原 憲芳  
わが町・わが村の自慢  
めだかの学校(岡山市北区)  
ふるさとの思い出 有吉和介も眠  
る閑谷の西谷墓所(備前市)  
文化財団ニュース／催しのご案内  
会員日より 観光ガイドを楽しむ  
河本 匡通

◆芸 備 芸備友の会

〒731-0135広島市安佐南区長束1-4-12-10  
小都隆方 1973年創刊  
◇42 2013.7 B5 73p 1000円  
「考古学から見た郷土の歴史」  
講座の報告  
道の考古学

一雲石街道を中心として 向田 裕始  
江の川をめぐる民俗と考古学—  
江の川流域の舟運と漁撈文化  
田邊 英男  
研究ノート  
広島県廿日市市吉和盆地の旧石  
器時代遺跡について—廿日市  
市吉和歴史民俗資料館所蔵資  
料の紹介を通して 沖 憲明  
郡山城下町遺跡の河川港につ  
いて—高宮郡衛推定地における  
津濟の復元 中山 学  
広島城築城の「島普請」説につ  
いて 後藤 研一  
遺跡・文化財の動向  
—2012年12月～2013年5月 芸備友の会

◆芸備地方史研究 芸備地方史研究会  
〒739-8522広島県東広島市鏡山1-2-3 広島  
大学大学院文学研究科日本史学研究室内  
Tel.082-424-6643 年3000円 1953年創刊  
◇286 2013.6 A5 29p  
2013年度芸備地方史研究会大会—  
創立60周年記念大会  
論説 芸備地方の文人と俳諧行脚  
—行脚桂眉・万羽・木海を事例  
に 河宮 正至  
動 向  
「建国記念の日」のヒロシマ(47)  
歴史講座「広島県の歴史」の記  
録 第1回「蒙古襲来と厳島  
神社」(講師 松井輝昭)／第  
2回「大内義隆の安芸国支配」  
(講師 中司健一)  
広島県の地方史研究

◆備陽史探訪 備陽史探訪の会  
〒720-0824広島県福山市多治米町5-19-8

Tel.084-953-6157 bingo-history.net  
◇172 2013.6 A4 24p  
幻の古代豪族 田口 義之  
懐かし写真館 二子塚古墳  
岩成庄 坂本 敏夫  
福山城の御用米蔵について—五千  
石蔵に収められた一万石の謎に  
迫る 田中 伸治  
調査報告 中世石造物の調査報告  
四ツ堂探訪 番外編  
一番古い四ツ堂は? 田口 由実  
古墳講座 「吉備」の中の坪生 網本 善光  
郷土探訪 連載「川筋を訪ねて」  
(3) 芦田川の砂塚の跡 種本 実  
例会報告 水呑の古往還を歩くに  
参加して—水呑の歴史を振り返  
る 千住美保子  
4月バス例会 風雲の鷲尾山城と  
木梨杉原氏盛衰の跡を訪ねて 永久 信吾  
木梨杉原氏盛衰の鷲尾山城を訪ね  
て 中西タイチ  
ワンショット・例会レポート—親  
と子の歴史ウォーク  
歴史研便り 歴史講座「近世福山  
を読む」始まりました。 高木 康彦  
山城レポ  
続・怨霊の城 能登末森城跡 末森 清司  
随想 くらわんか舟 熊谷 操子  
読書随想 『たい焼の魚拓』(宮崎  
康彦 JTB) 岡田宏一郎  
事務局便り 行事案内  
大分便り JR大分駅は招く 後藤 匡史  
各部会学習会・講座 古墳部会学  
習会、城郭部会学習会、歴史民  
俗研究部会学習会、ぶら探訪予  
定／事務局日誌

◆広島土史研究会会報  
〒737-0112広島県呉市広古新開2-1-4  
呉市広公民館内 Tel.0823-71-0706  
1998年創刊  
◇115 2013.7 A4 47p  
第十一海軍航空廠の遺物 上河内良平  
川南豊作と南極観測船「宗谷」 福本 健  
若き日の覚書  
卒寿(90才)を迎えて 出来本義三  
平成25年度・総会報告 吉田 顕治  
小・中学校で歴史講座／古文書部  
会の報告／例会の主な感想／例  
会報告／第108回例会のお知らせ  
川南豊作と南極観測船「宗  
谷」 福本健／古文書部会のご  
案内

◆わが町三原 みはら歴史と観光の会  
〒723-0062広島県三原市本町1-9-27  
福岡幸司方 Tel.0848-62-2935 年3600円  
◇267 2013.6 B5 12p 100円  
表紙 春のハイキング成功裡に終  
了 正法寺本堂前にて H25.4.7  
今月の各地  
歴史を知ることの意義 大本 静人  
春のハイキングに参加して  
平成25年春のハイキングに参加  
して 正兼 鐵夫  
正法寺と戸田家の墓を訪ねて  
大谷 和弘  
我が国「近代土木の創始者」真田  
秀吉工学博士(2) 西原 達夫  
◇268 2013.7 B5 12p 100円  
表紙 福井万千先生の総会記念講  
演 於三原市ゆめきゅりあセン  
ター  
今月の各地  
「海の日」と海洋国家日本 行長 啓三

平成25年度総会並びに記念講演会  
報告 鈴木 健次  
「伝草井藤市の墓」に関する一考  
察(謎とき)(1) 和氣 泰臣  
平氏と三原(完結編) 大谷 和弘  
我が国「近代土木の創始者」真田  
秀吉工学博士(完結編) 西原 達夫

◆徳島県立博物館ニュース  
〒770-8070徳島市八万町向寺山  
徳島県文化の森総合公園 Tel.088-668-3636  
1990年創刊  
www.museum.tokushima-ec.ed.jp

◇91 2013.6 A4 8p  
鳴門のセアカゴケグモ 山田 量崇  
Culture Club 門付けのこと 庄武 憲子  
平成25年度企画展 エイリアン・  
スपीシーズ—知られざる外来  
生物の姿 平成25年7月19日  
(金)～9月1日(日)  
速報 急増中! 特定外来生物  
ナガエツルノゲイトウ 茨木 靖  
館蔵品紹介 廻在録 長谷川賢二  
Q&A 徳島城の御殿について部  
屋とふすま絵の資料があると聞  
きましたが… 大橋 俊雄  
7月から9月までの博物館普及行事

◆伊予史談 伊予史談会  
〒790-0007愛媛県松山市堀之内  
愛媛県立図書館内 1915年創刊  
◇370 2013.7 A5 91p 715円  
《創立100周年記念特集号(3)》  
伊予史談会創立百周年記念行事  
平成25年5月12日(日) にぎた  
つ会館 記念式典／講演会／祝  
賀会  
記念講演 藩成立期の先覚者像

一松山藩足立重信を中心に 藤田 達生  
 記念随想  
 伊予史談会百周年を祝う 村上 直  
 創立一〇〇周年をお祝します  
 下向井龍彦  
 伊予史談会蔵 竹田博文の記録  
 和田 克司  
 伊予史談会創立百周年に寄せて  
 木原 博幸  
 伊予史談会と私 岩橋 勝  
 伊予史談会と歴史資料の保全 寺内 浩  
 大洲藩研究と「大洲藩記録」 東 昇  
 四国のなかの伊予史談会 胡 光  
 私にとって『伊豫史談』とは 窪田 重治  
 私と地域史研究 今村 威  
 百周年と言う今 田中 卓輝  
 曾我正堂のことなど 佐々木正興  
 湧ヶ淵蛇骨伝承と伊予史談会 三好 恭治  
 伊予史談会の創立百周年を祝う  
 藤田 正  
 多重人格の世迷い言 松友 武昭  
 地域史(特に文化財)の保存と活  
 用 青井 三郎  
 私と伊予史談会 村上 憲市  
 「伊豫史談会」創立と大洲の人々  
 澄田 恭一  
 私と地域史研究 加藤 正典  
 百歳の伊予史談会に想う 泉(景浦)玲子  
 伊予史談会と私 熊谷 正文  
 私と伊予史談会 日下部正盛  
 平成から百周年まで一思い出を  
 語る 対談 武智利博/清水正史  
 伊予史談会入会の頃 高須賀康生  
 伊予史談会との途ざれ 門田恭一郎  
 私と伊予史談会—伊予史談会に  
 育てられた私 清水 正史  
 景浦先生の思い出 山内 譲  
 私と伊予史談会 山崎 善啓

文書を読むこと残すこと 柚山 俊夫  
 伊予史談会の二つの展覧会 井上 淳  
 もう一つの「伊予史談会」 永井 紀之  
 「伊予史談会文庫」との対話 土居 聡明  
 伊予史談会文庫の恩恵 山内 治朋  
 報告 第5回四国地域史研究連絡  
 協議会(愛媛大会)参加報告 永井 紀之  
 郷土その日その日 編集部  
 例会記事  
 ◆海南千里 土佐山内家宝物資料館だより  
 〒780-0862高知市鷹匠町2-4-26  
 TEL088-873-0406 2000年創刊  
 www.l0.ocn.ne.jp/~yamauchi/  
 ◇40 2013.6 A4 10p  
 緋羅紗地数珠文陣羽織 15代山内  
 豊信(容堂)所用 丈100.7センチ  
 チ、裾64.5センチ 尾本 師子  
 資料館の応用力 渡部 淳  
 特設展紹介  
 「男爵の旅 山内家の絵葉書コ  
 レクション」平成25年5月17  
 日(金)~7月8日(月) 尾本 師子  
 夏休み恒例「土佐藩歴代藩主展  
 —土佐藩二七〇年の歴史と個  
 性あふれる藩主たち—」平  
 成25年7月12日(金)~9月23日  
 (日) 藤田 雅子  
 事業報告 山内家資料調査の展開  
 古文書調査 藤田 雅子  
 古写真調査 尾本 師子  
 山内文庫調査 田井東浩平  
 情報統括 岡本 麻衣  
 特設展関連行事報告 「山内家の  
 ひな道具展」関連行事 貝あわ  
 せの会、呈茶 中屋 真理  
 御道具根居をよむ(1)  
 「裏は白地錦に桐鳳凰籠。」 尾本 師子

新 研究の手引 近代の会社・企業  
 家を調べるには 古賀 康士  
 整理と保存(40)  
 修理事例「能管」(2) 田井東浩平  
 古文書への招待  
 江戸詰藩士の住宅事情 藤田 雅子  
 土佐史の人々 森勘左衛門花芳材  
 (1768~1807) 藤田 雅子  
 古文書基礎知識 月の漢語表現 横山 和弘  
 土佐の〇 地域とともに「地域  
 記録集 土佐の村々」の発刊 筒井 聡史  
 お世話になった人々—山本眞壽氏  
 (染織家) 中屋 真理  
 まなびのひろば お正月の会、さ  
 わってみよう—武器・武具・刀  
 中屋 真理  
 受付だより 絵はがきのご紹介 大平 悦子  
 平成25年度展示予定表/講座のご  
 案内/催し物のご案内  
 路傍の歴史 「国宝高知城」の石碑  
 高知市丸ノ内 片岡 剛

### 九州・沖縄

◆季刊 邪馬台国 梓書院  
 〒812-0044福岡市博多区千代3-2-1 麻生ハ  
 ウス3階 TEL092-643-7075 1979年創刊  
 ◇118 2013.7 A5 216p 1238円  
 グラビア ベイズ統計学の衝撃!!  
 邪馬台国論争に、あらたな展開  
 巻頭言 邪馬台国探究の新局面  
 《特集 激震! 邪馬台国論争  
 —数理歴史学による挑戦》  
 ベイズ統計学により邪馬台国が九  
 州にあった確率、近畿にあった  
 確率を計算する 安本 美典  
 特別対談 ベイズ統計学への道—  
 その基礎を考える 原因は何か  
 を考えるとき、「確率」が使える

る 松原望/安本美典  
 「統計学名言集」ベイズ統計学の  
 イメージをつかんでいただくた  
 めに 編集部  
 箸墓古墳が卑弥呼の墓ではありえ  
 ない八つの理由 安本 美典  
 「旧石器捏造事件」のいきさつと  
 現状 竹岡 俊樹  
 海の民 宗像(5)—玄界灘の守り神  
 太神 美香  
 九州古代紀行(20)  
 筑後国一之宮高良大社を往く 加藤 哲也  
 ブッダへの道(4)—法顕が見た五  
 世紀初頭のアジア 河村 哲夫  
 投稿原稿 神庭荒神谷遺跡の古代  
 出雲地方での意義 長瀬 貴  
 私の邪馬台国 現代地図に遺され  
 た郡名の方位表示をめぐって 堀口 清視  
 書評 『大崩壊「邪馬台国畿内説」』  
 安本美典著

◆九州史学 九州史学研究会  
 〒812-8581福岡市東区箱崎6-19-1  
 九州大学文学部日本史学研究室内  
 TEL092-642-2375 1956年創刊  
 www.2lit.kyushu-u.ac.jp/~his\_jap/kyushusigaku/  
 ◇165 2013.7 B5 66p  
 第一次世界大戦期における「日中  
 経済提携」と漢治萍公司—九州  
 製鋼株式会社の設立をめぐって  
 久保田裕次  
 鎌倉中期における筑前国宗像社の  
 再編と宗像氏業 中村 翼  
 書評  
 松岡久人著『大内氏の研究』 岡松 仁  
 河上麻由子著『古代アジア世界  
 の対外交渉と仏教』 山内 晋次  
 彙報

◆末盧国 松浦史談会

〒847-0824佐賀県唐津市神田2118-1  
TEL0955-73-3549 年2000円 1962年創刊  
◇194 2013.6 B5 20p  
佐賀県重要文化財  
木造聖観音菩薩坐像 志佐 惲彦  
唐津の郷土史で語られていない真  
実の史話(3) 名護屋城で茶の  
湯と能楽に興じる秀吉と朝鮮の  
戦場で凍死と餓死の日本軍(1) 中里 紀元  
馬渡島ブラジル移民90年  
一その背景と経過 熊本 典宏  
「鉄生産」で古代国家建設へ  
一鉄の道から遠ざかった末盧 堀川 義英  
唐津、土地の記憶(4)  
見下ろす丘、墓また墓 田島 龍太  
値賀伊勢守の養子について 浦上 健  
事務局だより 秋の史跡探訪のご  
案内「山陰の古代ロマンを訪ね  
る旅」  
高峰中学校校歌の作詞に当たって  
池田 恭子  
春の史跡探訪 白杵石仏・宇佐神  
宮・小京都日田を訪ねる 松本 和典  
俳句 春の旅行吟 高添ふくよ／篠原涼子／  
吉原絵美子／小浜史都女  
史料で読み解く虹の松原一揆の実  
像(3) 唐津藩の民間塾／書簡  
・日記等にもられる民間塾の教  
育活動

◆浜木綿 五島文化協会

〒853-0002長崎県五島市松山町604-10  
筑田俊夫方 TEL0559-74-2667  
◇95 2013.5 A5 170p  
特集 大野きゆう句集「沖うらゝ」  
随想  
さよなら大連・北京、そして團

十郎丈 松原 剛  
思い出す事 小島 清  
橘曙覧の「清貧という生き方」田端昭一郎  
私の万葉故地(歌碑)巡り 上河 恵賜  
評伝「石城会」追想シンフォニー  
(序章・明治・大正・昭和・  
平成 無終章) 才津 玉樹  
史話  
宇久五島家の始祖は誰か？  
平氏系か？源氏系か？ 松本 作雄  
史料にみる古代の五島(1) 櫻井 隆  
久賀島田ノ浦湾の漁業変遷史一  
鯨漁場をめぐる紛糾と妥協 内海 紀雄  
論説 ツバキ花腐れ病のすべて  
一五島椿油生産の大敵 比留木忠治  
記録 活動の記録(2012年9月～20  
13年2月) 片山 圭弘  
そのほか・トピックス 第8回五  
島列島小中高学生 短歌・俳句  
コンクール入選作品集／潮の目  
ある日ある時スクラップに拾う  
／新聞・報道等に見る会員の皆  
様のご活躍

◆宮崎県地域史研究 宮崎県地域史研究会

〒880-8520宮崎県宮崎市船塚1-1-2  
宮崎公立大学 大賀研究室気付  
TEL0985-20-2000 年3000円 1993年創刊  
◇28 2013.6 B5 103p  
《宮崎大学山田渉先生退職記念号》  
特集にあたって 若山 浩章  
中世島津氏「守護代」考 新名 一仁  
「延岡城下凶屏風」について一発  
注者・享受者・制作目的をめぐ  
る一考察 増田 豪  
三浦延岡藩政の再評価 佐藤 省吾  
明治後期の優良実業補習学校につ  
いて 竹村 茂紀

両ブルゴーニュにおける公証制度  
の展開一ブルゴーニュ公国形成  
期を中心に 中堀 博司  
2012年度宮崎大学・宮崎公立大学  
卒業論文要旨

◆宮古郷土史研究会会報

〒906-0013沖縄県平良市下里1223-8  
下地和宏気付 TEL0980-72-9963  
1977年創刊  
◇197 2013.7 B5 8p  
7月定例会レジュメ 「与那覇勢頭  
豊見親のニーリ」について一ニ  
ーリの「むいか越」は果して地  
名なのか 下地 利幸  
8月定例会レジュメ 2012年度友  
利元島遺跡発掘調査一堆积層の  
歴史の変遷の検討 久貝 弥嗣  
5月定例会のまとめ 下地島・キ  
ドマリ村跡調査について 山本 正昭  
6月定例会のまとめ  
人頭税と土地の配分について 下地 和宏  
「慰霊の日」関連特別展示  
「戦争と子どもたち」の紹介 砂川 史香  
『宮古島市総合博物館紀要 第十七  
号』の紹介 砂川 史香  
ネフスキーの見た宮古一講演と映  
像の集いに150人余 下地 和宏  
沖縄防災環境学会 in 宮古島 「古  
文書・発掘調査が証す歴史津波  
の実態とは」 久貝 弥嗣  
島尻南嶺の長墓遺跡発掘調査 久貝 弥嗣  
『宮古研究』第12号原稿募集  
上地慶彦『マツガニ川柳』 「川柳」  
分野初の「平良好児賞」 仲宗根将二

寄贈図書紹介

◆常陸国筑波郡弥左衛門新田『御用留』II  
一茨城県取手市新川 飯島満家文書  
近江礼子著(〒300-1536 茨城県取手市光風  
台2-4-13 TEL0297-83-4662) 2012年11月 B5  
194頁 1000円  
常陸国筑波郡弥左衛門新田(茨城県取手市新  
川)の飯島家における約3000点の所蔵文書の  
うち、第I集(2011年7月刊)にひきつづき万  
延2年(1861)から慶応3年(1867)までの7冊の  
「御用留」を翻刻・収録する。  
解説「御用留」にみる弥左衛門新田／御用  
留件名目録／万延2年(1861)正月『御用留帳』  
／文久3年(1863)正月『御用留』／文久3年  
(1863)七月『御用留』／元治2年(1865)正月  
『御用留』／慶応元年(1865)六月『御用留』  
／慶応3年(1867)正月『御用留』／慶応3年(1867)  
十月『御用留』／資料 弥左衛門新田沖組の  
村役人、弥左衛門新田新川組の村役人、福  
岡・伊丹堰用水組合の村々、文久三年の若柴  
宿助郷差村、弥左衛門新田における若柴宿へ  
の助郷、代官所よりの飛脚と飛脚賃  
◆散木奇歌集疏註 第一部春・第二部夏  
菴没羅別冊1  
奥村憲右監修 重田仁美監修・編集 久保稔  
補遺(〒183-0051 東京都府中市栄町2-1-11)  
2012年10月 B5 78頁  
平安時代後期の歌人源俊賴(1055～1129)の晩  
年の歌集『散木奇歌集』疏註本。私家集大成  
本(書陵部本)を底本とし、関根慶子氏の散木  
奇歌集校本『散木奇歌集注篇上』(1992年)『散  
木奇歌集注篇下』(古屋孝子共著、1999年)と、  
群書類従本を主に参考して補う。第一 春部  
／第二 夏部／第三 秋部／第四 冬部／第  
五 祝部(別離 旅宿)／第六 悲嘆部(神  
祇 釈教)／第七 恋部上／第八 恋部下  
／第九 雑部上(恨身恥連雑歌百首)／第十

雑部（長歌、旋頭歌、混本誦、折句歌、沓冠折句誦、隠題、連誦）／人名解説／地名索引

#### ◆品川歴史館特別展 品川鉄道始

—陸蒸気が品川を走る  
品川区立品川歴史館編・刊（〒140-0014 東京都品川区大井6-11-1 TEL03-3777-4060）  
2012年10月 A4 150頁  
明治5年(1872)5月の品川～横浜間、9月の新橋～横浜間の鉄道全通から140周年を記念した2012年特別展図録。鉄道開通前後から鉄道開通、そして鉄道網の充実などの様子を多くの資料から紹介する。ごあいさつ(佐藤成順)／日本人と鉄道との出会い／幕末、佐賀藩を始めとする蒸気機関研究／鉄道開通夜明け前／明治五年新橋～横浜駅開業／鉄道の拡大鉄道の旅／品川鉄道今昔物語、そして未来へ／附録／コラム／付図 明治5年新橋～横浜間路線図、明治初期の品川停車場・高輪築堤位置図

#### ◆女相撲民俗誌—越境する芸能

考古民俗選書  
亀井好恵著 慶友社（〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-48 TEL03-3261-1361）  
2012年10月 A5 297頁 4800円  
序章 研究の目的と研究史／明治以降の興行女相撲／女相撲の観客論—明治以降の新聞・雑誌記事からみる観客反応を中心に／雨乞女相撲についての一考察—信仰と娯楽のあわいに在るもの／都市周辺漁村における女性の民俗芸能／各地に伝承される女相撲の諸相／「隠れた」女の大力信仰—江戸期見世物文化と女相撲／女子プロレス抑圧者としての力道山／「観客論覚書」再考／観客から縁者への投企／終章 本書のまとめと今後の課題／補遺 女相撲への憧憬

◆翻刻 武蔵国豊島郡三河島村松本家文書Ⅲ  
荒川区古文書いすみの会編・刊（〒116-0014 東京都荒川区東日暮里3-21-12 横須賀恭嗣

方 TEL03-3807-6491）2012年11月 A4 67+20頁

2012年1月刊行につづく荒川区旧三河島村地方文書「松本家文書」の翻刻第3集。「武蔵国豊島郡三河島村松本家文書」について／安政五戊午年 浄正寺作事願書写（自火焼失による再建願書）／文久三亥年二月 御上洛御触書（将軍家茂の上京中の江戸治安取締について）／御三家方家老衆江相達シ 水戸殿家老江相達之書付ほか（桜田門外ノ変等の幕末事件にかかわる瓦版と思われる書写）／和州五条但州生野 珍文集 文久三亥年八月（天誅暗殺、天誅組蜂起、禁門の変、水戸天狗党下妻戦争にかかわる瓦版と思われる書写）／米価諸色高直ニ付小前窮民共江夫食拝借米奉願上候願書并小前割渡帳 慶応二寅年五月（米価高騰による寛永寺代官 田村権右衛門への拝借米願分書）／付 宝暦十一年銘石造灯籠／索引／荒川区史関連表

#### ◆寒川町史調査報告書18

寒川町長の所信表明と施政方針(1)  
寒川町史編集委員会編 寒川町（〒253-0106 神奈川県高座郡寒川町宮山135-1 寒川町文書館 TEL0467-75-3691）2012年10月 B5 147頁  
『寒川町史』資料編などで紹介しきれなかった特色ある貴重な資料を翻刻する調査報告書第18集。第7代から第15代町長の町議会における所信表明および施政方針演説を掲載する。はじめに(木村俊雄)／解説(内海孝)／第7代町長 五島恵一・第8代町長 藤沢房吉(昭和31年～35年)／第9代町長 小林武雄(昭和35年～39年)／第10代町長 藤沢房吉(昭和39年～43年)／第11代町長 高橋誠(昭和43年～47年)／第12代町長 高橋誠(昭和47年～51年)／第13代町長 高橋誠(昭和51年～54年)／第14代・15代町長 鈴木貢(昭和54年～58年)

#### ◆淀川と水辺の風景

町制45周年記念第20回企画展

大山崎町歴史資料館編・刊（〒618-0071 京都府乙訓郡大山崎町大山崎竜光3 大山崎ふるさとセンター内 TEL075-952-6288）2012年10月 A4 40頁  
昭和42年の町制施行以来、大山崎町制の45周年を記念して開催される第20回企画展の図録。現在、桂川、宇治川、木津川の三川が並走する姿とは異なるかつての淀川の景観を振り返り、その変遷と沿岸の人々との関わりを取り上げる。変遷する三川合流／合流地点の町／水辺の間屋と渡し場／淀川沿岸の開発／沿岸の治水対策／淀川改良工事へ

#### ◆川東・たんぼの下から郷土のお宝発見！

亀岡市文化資料館編・刊（〒621-0815 京都府亀岡市古世町中内坪1 TEL0771-22-0599）  
2011年1月 A4 21頁  
亀岡市文化資料館第49回企画展(2011年1月22日～2月27日)の図録。中央に大堰川が流れる亀岡市域の「川東」地域のは場整備などによる発掘調査の成果を紹介する。縄文時代 明らかになりつつある縄文時代／弥生時代 確認された弥生時代の1100基の穴 案察使遺跡、川東の拠点集落 時塚遺跡／古墳時代 千歳を治めた首長の墓か 出雲武式古墳、南丹波の王を支えた豪族の墓か 時塚1号墳、中地区を治めた首長とその一族の墓か 中古墳群、保津の王の墓か 保津車塚古墳、古墳時代の大規模集落 里遺跡、群集墳と八角形墳 国分古墳群、子持ち勾玉発見！ 池尻遺跡／古代 古代のムラ 河原尻遺跡、国府はここなのか？ 池尻遺跡・池尻廃寺、国分寺の創建瓦を焼いた窯発見!? 三日市遺跡、郡衙か、まさか!? ここが国府なのか 杉南遺跡／川東地区での発掘調査報告書一覧

#### ◆丹波の祭礼と風流

亀岡市文化資料館編・刊（〒621-0815 京都府亀岡市古世町中内坪1 TEL0771-22-0599）

2011年10月 A4 32頁

亀岡市文化資料館の第27回特別展(2011年10月15日～11月27日)の図録。京都府で開催された国民文化祭による亀岡市での「風流のまつり、民俗芸能の祭典」を機に、亀岡市に伝わる祭礼の用具や写真・文献史料を紹介する。特別寄稿 風流の諸相(植木行宣)／つくる 風流の花／おどる 雨悦風流／いのり 願いの風流／とます 火の風流／はやす 風流としての山・鉾

#### ◆オールドかめおが写真展

亀岡市文化資料館編・刊（〒621-0815 京都府亀岡市古世町中内坪1 TEL0771-22-0599）  
2012年3月 A4 48頁  
亀岡市文化資料館第51回企画展(2012年3月1日～4月8日)の図録。亀岡市の市史収集資料や文化資料館に集まったさまざまな古写真を通じてかつての亀岡市の姿をみる。美田村顕教と亀岡城／近代の亀岡写真小史／それぞれの写真(和銅の松、文化財、出雲花踊りの復活、春日坂、千本松、平和池水害、寒天、つつじヶ丘団地、昔の建物、登校班)／コレクション—郷土史家の目／広報係—まちかどの風景／まちの写真屋さん／空中写真—亀岡を空からながめる—昭和44年(1969)

#### ◆道具を使う、道具を作る

—職人の民俗誌3 鍛冶屋さん  
亀岡市文化資料館編・刊（〒621-0815 京都府亀岡市古世町中内坪1 TEL0771-22-0599）  
2012年10月 A4 32頁  
亀岡市文化資料館の第28回特別展(2012年11月3日～12月9日)の図録。かつては村ごとにより、身近な存在であった鍛冶屋をとりあげ、さまざまな道具や文献史料を紹介し、現在では1軒のみになってしまった亀岡の鍛冶屋の歴史と技術を考える。道具を使う 耕す、引く・挽く、切る、掘る、削る／道具を作る 鍛冶屋と鋳物師、亀岡の鍛冶屋、仕事

場、仕事、工程、くらし／片井氏所蔵鍛冶道具一覧／展示資料一覧／関連文献／コラム  
道具のキレを支える天然砥石、大工さんの道具箱、亀岡の寒天製造用具、山鉾の車輪、「鍛冶」のつく地名

◆石見国三隅高城 城と陣屋シリーズ257  
田村紘一著 日本古城友の会 (〒577-0044 大阪市西成区玉出中2-11-28 平川大輔方 TEL06-6652-4511) 2012年10月 A5 91頁  
三隅城の写真と関係図面・支城平面図／三隅氏関連系図／位置と概説／三隅家の先祖益田氏の出自／三隅家の成立と築城／元寇の役と三隅領の城砦／四代目石見守兼連／兼連の石見南軍総帥／日野邦光と胡籙局に石見宮／上野頼兼の石見国内と三隅城攻め／高師泰軍の石見国内と三隅城攻め／石見宮と三隅兼知に胡籙局の討死／足利直冬の上洛と兼連の戦死／戦国期までの三隅家／戦国初期の三隅家／戦国末期の三隅家／三隅城の最後と以降の三隅家／三隅城の規模と構造／内郭と外郭の支

城(外城)／おわりに／あとがき／三隅城と三隅氏関連年表

◆ガイドブック 大村湾沿岸をフィールドワークするーキリスト教受難と戦争の遺構を訪ねて

NPO法人長崎人權研究所編・刊 (〒850-0048 長崎市上銭座町2-7 TEL095-847-8690) 2012年12月 新書版 24頁  
テーマごとに長崎を歩くフィールドガイドブック大村湾沿岸編。大村湾について／大村マップ／①坂口館跡(大村純忠終焉の地)／②天正遣欧少年使節顕彰之像／③首塚(胴塚)／④放虎原殉教地／大村藩とキリスト教／郡崩れ／池田乱民の変／⑤第21海軍航空隊／⑥本経寺／⑦石井筆子の像／⑧針尾山トンネル工場跡／朝鮮人の強制労働／⑨鈴田牢跡／⑩浦頭引揚記念平和公園／⑪針尾送信所無線塔／⑫釜墓地／⑬無窮洞／⑭特攻殉国の碑／⑮片島魚雷発射試験場跡／佐世保・川棚マップ

#### ◆後記

福島民俗学会の「福島の民俗」41 (2013.5) の目次情報は本誌前号に掲載したが、「特集・東日本大震災―体験を通して」を読み直し、感じるどころが多かったので、改めて紹介したい。特集には、山崎祐子「つなぐこと・伝えること―いわき市復興支援、プロジェクト傳の一年」、遠藤祝穂「富岡町における『一揆会』の現状―原発事故による避難生活の中で」、大山孝正「原発避難と地域コミュニティ―富岡町の事例」、岩崎真幸「街が壊されている―東日本大震災被災家屋、景観への対応」の4点が収録されている。特集の趣旨は記されていないが、何れの論考からも、大きな震災、被災者、地域コミュニティ崩壊に直面して、「民俗学は何ができるのか」、研究者のための研究ではなかったかと苦悩する姿が伝わってくる。震災以来、夫々が被災地に入り、あるいは地域に在って文化財レスキューや避難民の地域コミュニティ作り、景観保護等の活動をしてきているだけに尚更切実に迫ってくるものがある。山崎さんの論考で、福島県矢祭町などの土蔵被害を知った日本民俗建築学会の建築士有志が、ポケットマネーで明け方に東京から車を飛ばし、その場で土蔵の持ち主の希望を聞き、短時間で調べ、修理方法を説明し、東京に戻って文書にして送り、大変に喜ばれたという印象的なエピソードが紹介される。「分かりやすい行動を機動力をもって行う」ことと、如何に現地の人たちと信頼関係が結べるかが鍵だと思うが、簡単には道筋は見えてこない。しかし、誠実に現実と向き合い、実践し、悩み苦しむところから先が開けてくるのではないかと思う。(飯澤)

地方史情報 118 2014年(平成26年)3月 発行 <http://www.iwata-shoin.co.jp>  
定価0円(送料90円) 年間購読料 税込1000円(送料として) 振替口座00100-2-564137  
発行所: 岩田書院 〒157-0062 東京都世田谷区南鳥山4-25-6-103 TEL03-3326-3757